

令和3年8月9日

# 日常生活圏内の交通行動アンケート調査報告

令和3年8月

あかしあ台小学校区まちづくり連絡協議会  
地域内交通検討会

# 1. アンケート概要

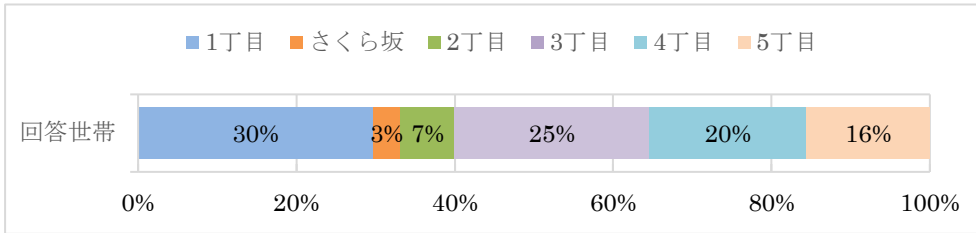
## (1) 調査要領

項目	内容			
調査目的	三田市あかしあ台小学校区内に在住の方を対象として、日常の買い物や通院などの交通行動とともにその際の困りごとやご意向について把握する。			
調査方法	自治会やまち協のお知らせ配送ルートによる調査依頼及び調査票回収。			
調査対象者	三田市あかしあ台小学校区内3, 051世帯の住民 (全世帯主宛依頼。但し、同一住居に住民票上の世帯が複数人の場合は1世帯として取扱う。)			
調査期間	令和3年4月1日～4月15日			
回収状況	下記の通り。57.5%			
	地区	配布数	回収数	回収率 (%)
	1. あかしあ台1丁目	813	519	63.8
	2. あかしあ台2丁目	230	120	52.2
	3. あかしあ台3丁目	818	429	52.4
	戸建	<450>	<311>	<69.1>
	グリーンスクエア	<245>	<75>	<30.6>
	あかしあ台ハイツⅠ	<123>	<43>	<35.0>
	4. あかしあ台4丁目	515	348	67.6
	5. あかしあ台5丁目	582	273	46.9
	戸建	<283>	<168>	<59.4>
	ガーデンコート	<165>	<60>	<36.4>
	あかしあ台ハイツⅡ	<134>	<45>	<33.6>
	6. さくら坂	93	61	65.6
	7. 不明	—	4	—
	合計	3,051	1,754	57.5

## 2. 調査対象世帯（問1）

### （1）住所

・アンケート回収世帯の住所分布は、居住世帯の割合とほぼ同じであった。

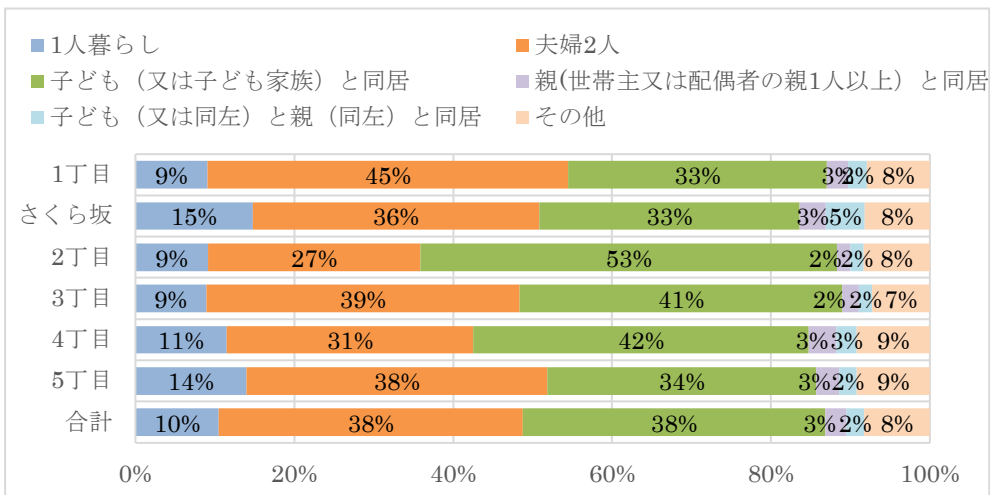


(回答世帯数)  
1,750

<あかしあ台小学校区居住世帯割合（2021.3末、全世帯3,051） 1丁目：27%、さくら坂：3%、2丁目：8%、3丁目：27%、4丁目：17%、5丁目：19%>

### （2）世帯構成

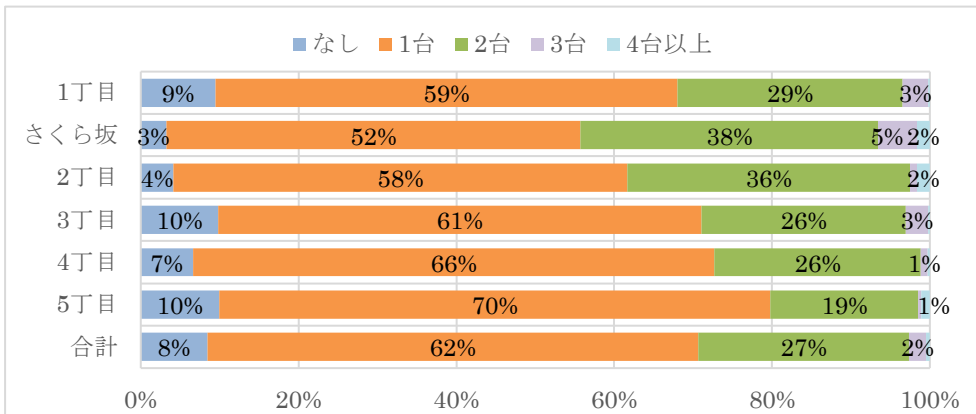
・世帯構成分布は、1・5丁目・さくら坂では夫婦2人世帯、2・3・4丁目では子どもと同居世帯が最も多い。新規住宅開発の影響と見られる。1人暮らし世帯は、いずれの地域とも概ね10%ある。



(回答世帯数)  
517  
61  
120  
426  
348  
272  
1,744

### （3）世帯内にある車

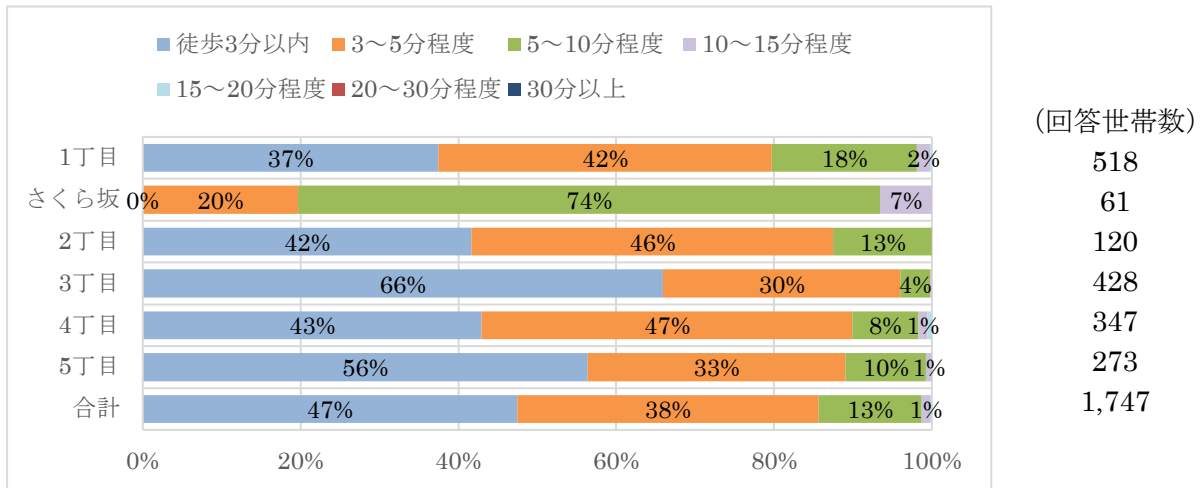
・世帯内にある車は、いずれの地域共1台が最も多く、次いで2台が多い。持っていない世帯も8%程はある。



(回答世帯数)  
519  
61  
120  
428  
348  
272  
1,748

#### (4) 最寄りのバス停までの距離

・徒歩10分以内世帯が、いずれの地域とも殆どを占める。さくら坂が少し多い程度で10分を越える世帯が7%程ある。



### 3. 日常生活におけるウディタウン内の交通行動

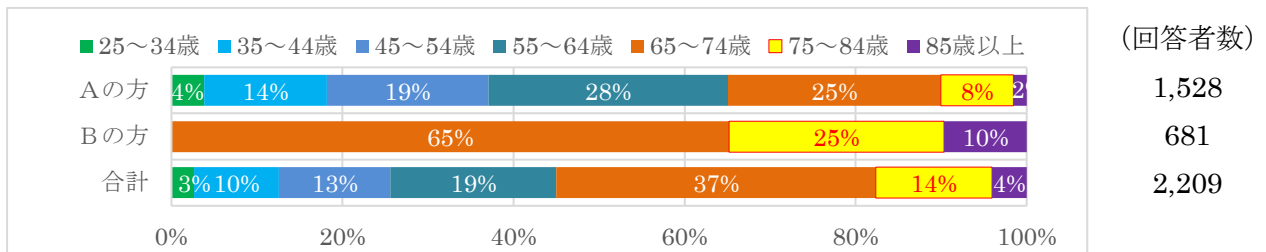
Aの方：日常の暮らしの中で買い物や通院などのためにウディタウン内の移動が最も多い方

Bの方：日常の暮らしの中でウディタウン内の移動を必要とされる高齢（65歳以上）の方

#### (1) 回答者の属性（問2、問3）

##### ① 年齢

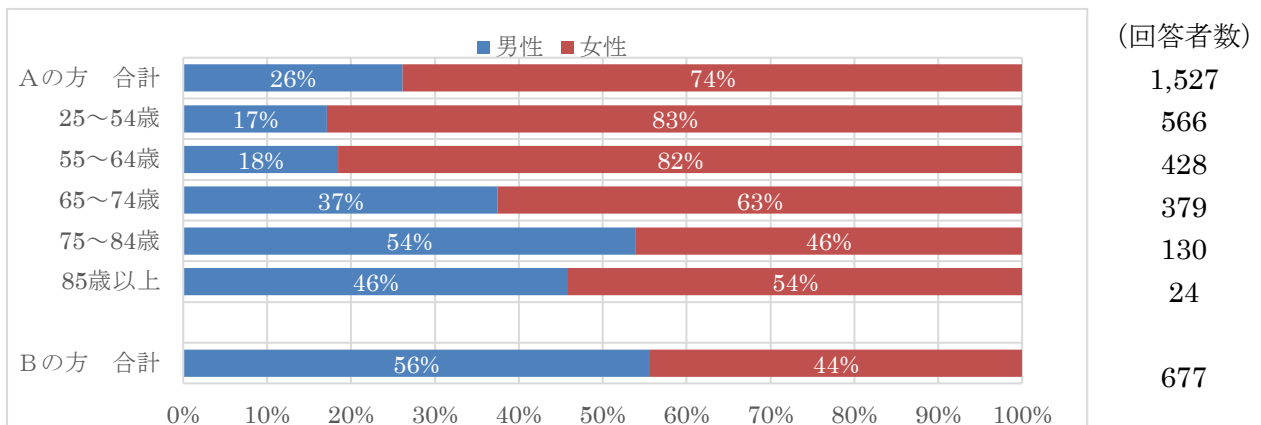
・55歳以上（Aの方の当該年齢層及びBの方）の年齢割合は地域人口比率と大きな乖離がない。一方で54歳以下（Aの方の当該年齢層）の年齢割合は地域人口割合よりかなり低い。回答者は高齢層に偏っている傾向にある。



<あかしあ台小学校区人口年齢割合（2021.3末、全住民8,623人）0~24歳：25%、25~54歳：33%、55~64歳：16%、65~74歳：17%、75~84歳：6%、85歳以上：3%>

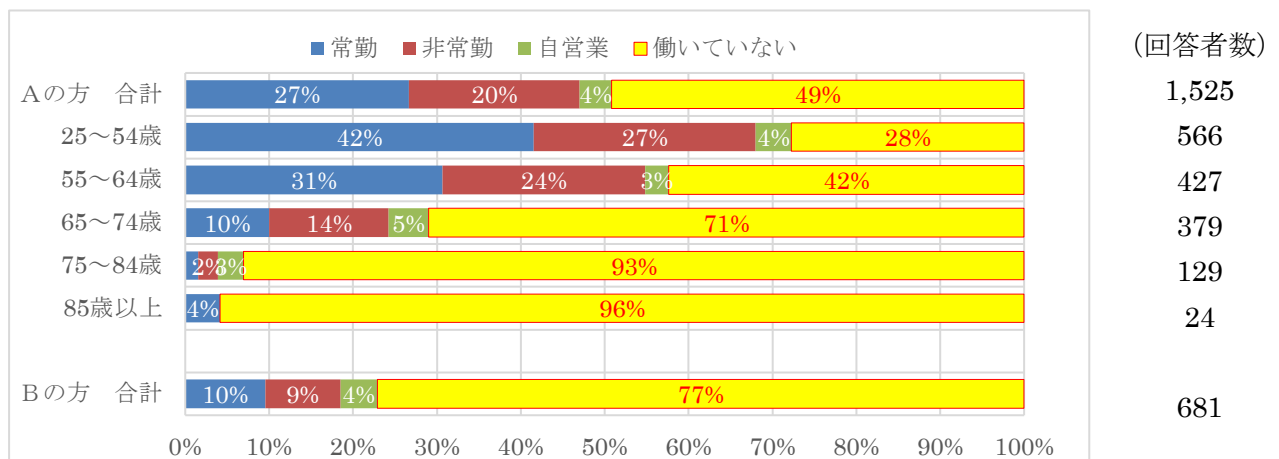
##### ② 性別

・Aの方は女性、Bの方は男性が多い傾向が見られる。



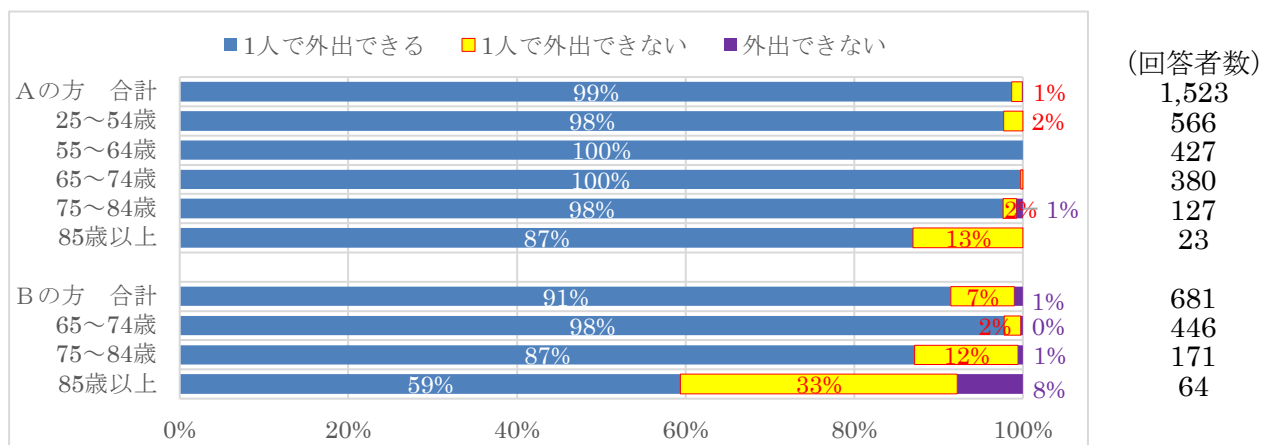
### ③ 職業

・Aの方は「働いている（常勤+非常勤+自営業）」が約半数で高齢になるほど「働いていない」が多くなる。Bの方は65歳以上を対象としており「働いていない」が77%と多い。



### ④ 外出可否

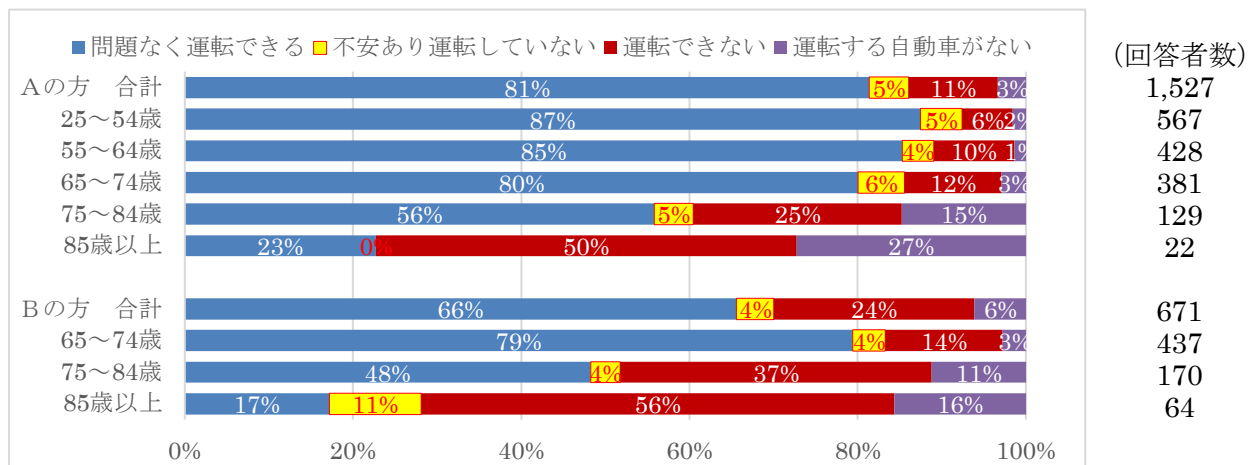
・A、Bの方とも、「1人で外出できる」が殆どを占める。外出に支障のある方が年齢に拘らず一定数あり高齢になる程多い。



## (2) 自力での移動について (問3)

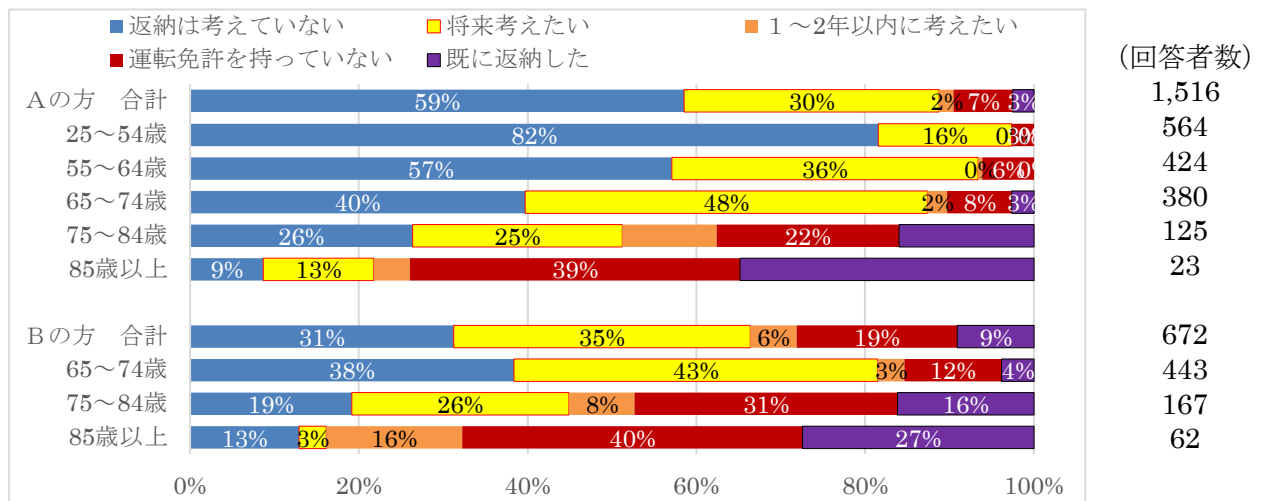
### ① 自動車による移動

・A、Bの方とも、「問題なく運転できる」が65~80%を占める。75歳以上では約半数が自動車の運転に支障を抱えている。



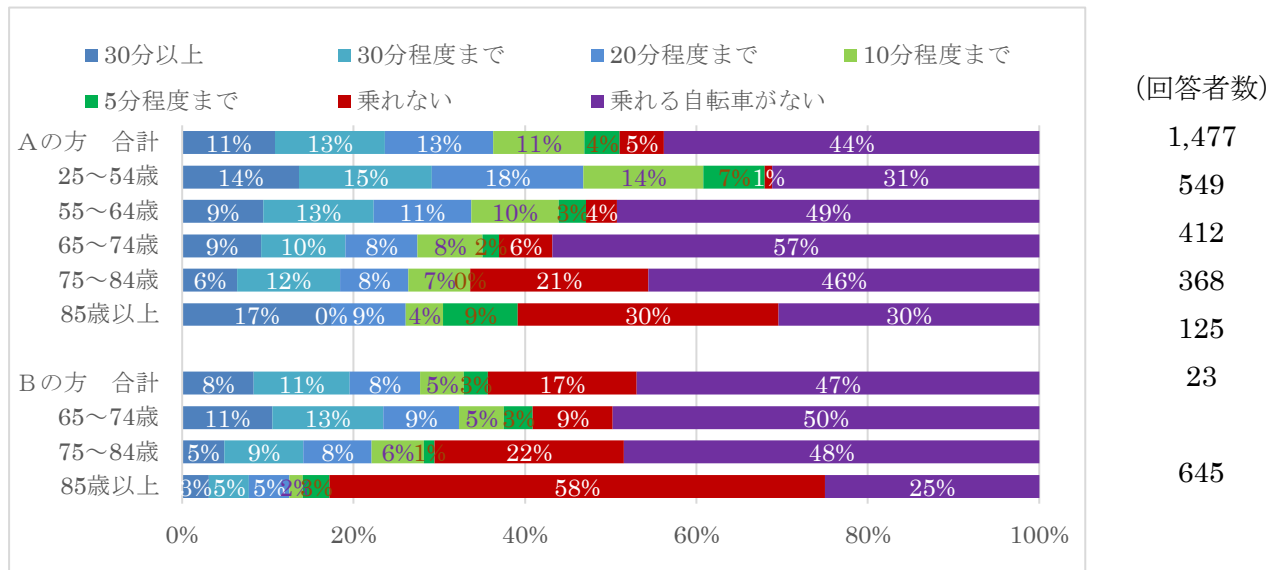
## ② 運転免許の返納

・高齢化による運転免許の返納を考えておられる方が、Aの方で約30%、Bの方で40%ある。今後、少子高齢化の進展により自動車の運転に支障を抱える方が更に増大すると考えられる。



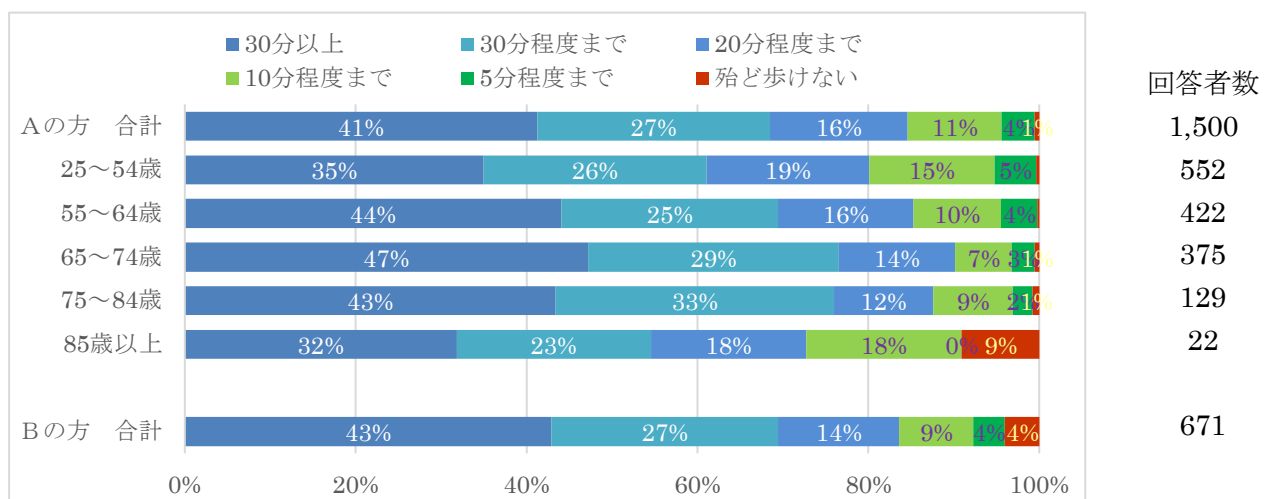
## ③ 自転車による移動

・Aの方で約50%、Bの方で約65%、自転車を使わない方がある。思いの他多い。



## ④ 徒歩による移動

・A、Bの方とも、20分程度までしか歩けない方が30%程ある。

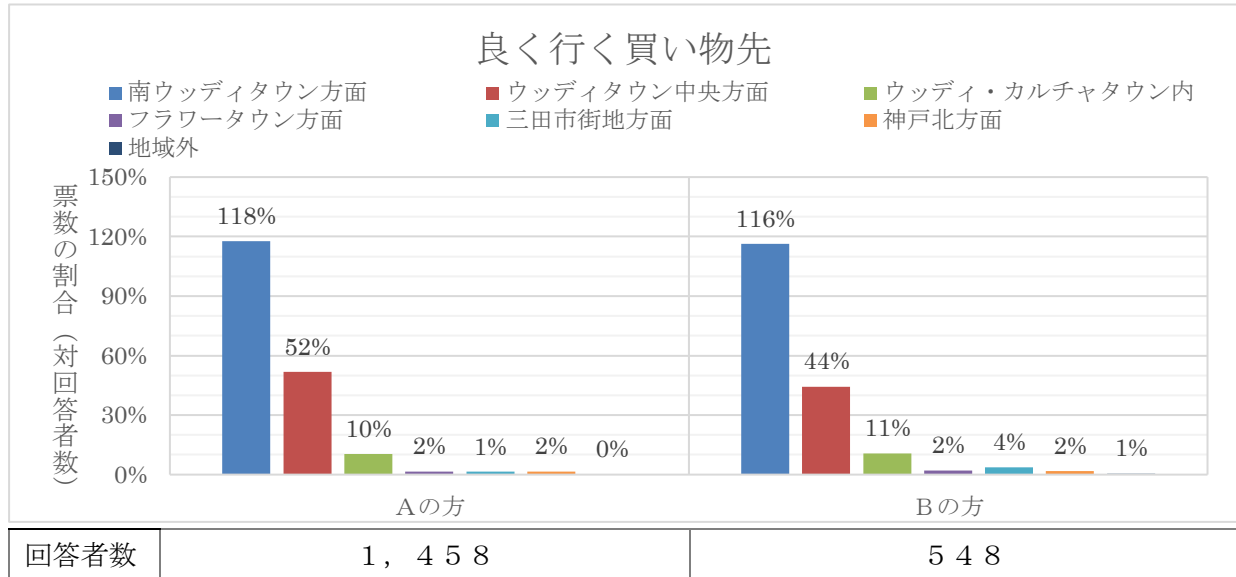


(3) 主な外出先への移動について (問4)

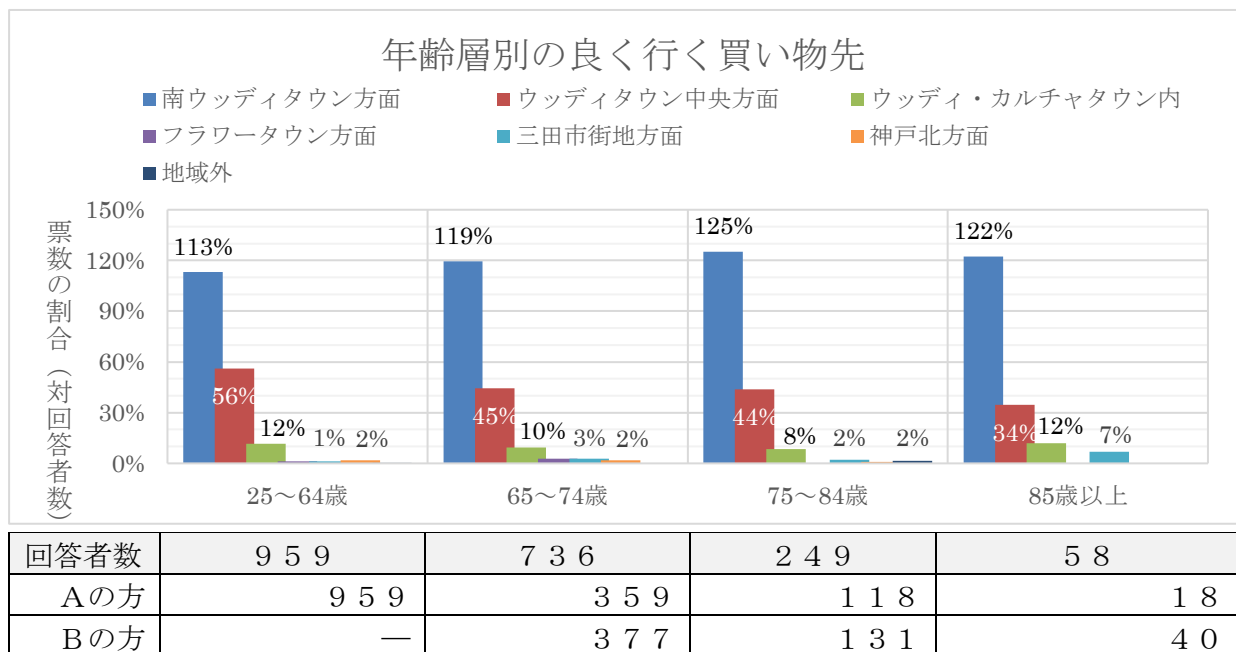
① 良く行かれる場所や施設 (2つまで複数回答)

1) 買い物

・A、Bの方とも、あかしあ台地区に近い「南ウッディタウン方面」が最も多く、次いで「ウッディタウン中央方面」が多い。年齢層分析では高齢者程、より近場に行かれる傾向が見られる。

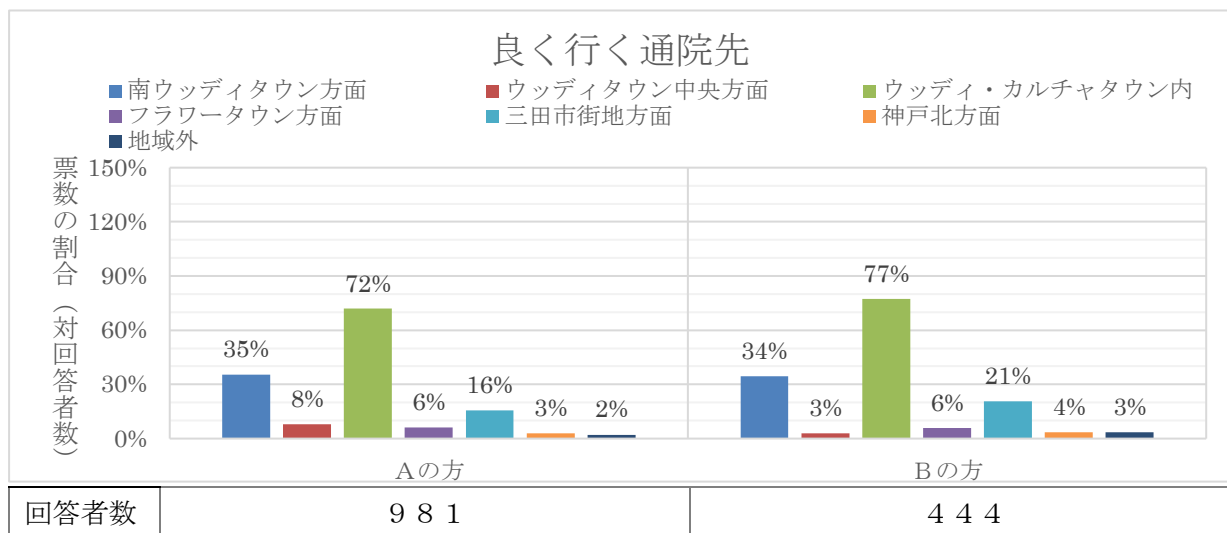


移動方面	南ウッディタウン	ウッディタウン中央	ウッディ・カルチャタウン内(南、中央除く)	フラワータウン	三田市街地	神戸北	地域外
主な行き先	マルハチ、阪急オアシス、万代、えるむプラザ、コーナン、サンデイ、ケーズデンキ、キリン堂他	イオン三田ウッディタウン店、業務スーパー、ダイキ他	コスモス、トライアル他	コープ他	パスカル他	イオン神戸北他	特に多いところなし

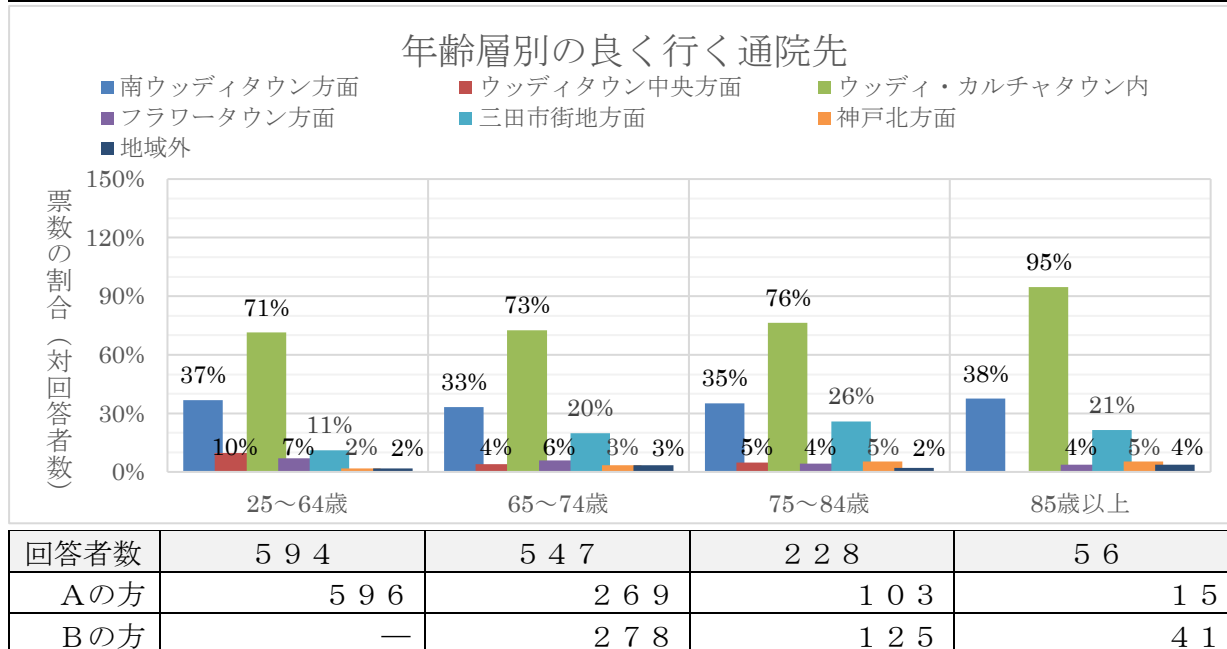


2) 通院先

・A、Bの方とも、市民病院及び地区センター医療施設のある「ウッディ・カルチャータウン内」が最も多く、次いで近場で医療施設の集まった「南ウッディタウン」が多い。年齢層分析では高齢者程、大規模病院のある「ウッディ・カルチャータウン内（南WT、WT中央除く）」及び「三田市街地方面」の割合が高くなる傾向にある。



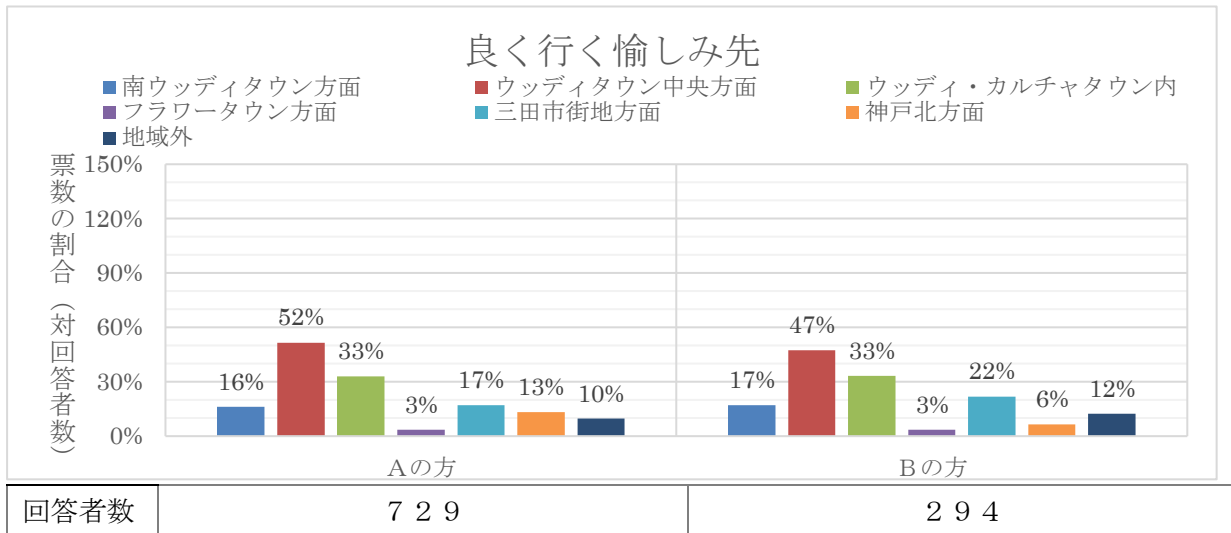
移動方面	南ウッディタウン	ウッディタウン中央	ウッディ・カルチャータウン内(南、中央除く)	フラワータウン	三田市街地	神戸北	地域外
主な行き先	えるむプラザ、どうもと内科、藤村耳鼻咽喉科、浅井眼科、はやしべ皮膚科、谷口歯科、殿ビル、殿勝胃腸科、山本医院、宮内歯科他	センチュリープラザ、山口内科、高尾耳鼻科、くわな歯科、前田歯科他	三田市民病院、長谷川内科、いわもと泌尿器科、たなか歯科、田舎医院、奥舎歯科、すぎたファミリークリニック、渡辺歯科、竹本整形、おかもと小児科、あさはら歯科、英保歯科、しらやま歯科他	フラワータウン、今田内科他	前橋内科、平島病院、せや眼科、兵庫中央病院、あおぞらクリニック、ふくしま整形、ばんどう歯科他	恒生病院、済生会病院他	特に多いところなし



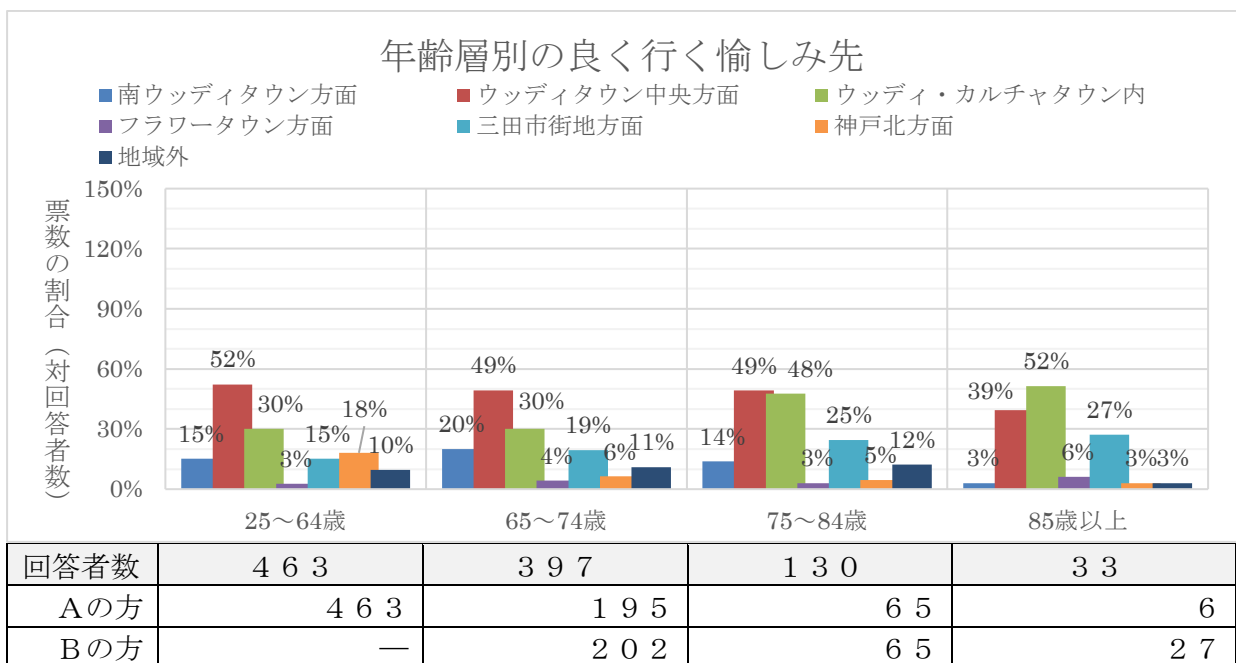


3) 愉しみ先

・A、Bの方とも、「ウッディタウン中央方面」が最も多い。次いで、「ウッディ・カルチャータウン内(南WT,WT中央除く)」となっている。その他「南ウッディタウン方面」や「三田市街地方面」とともに、「神戸北方面」、「地域外方面」など広範囲に動かれている傾向が見て取れる。なお、年齢層分析では85歳以上で幾分差異あるが大きなものではない。

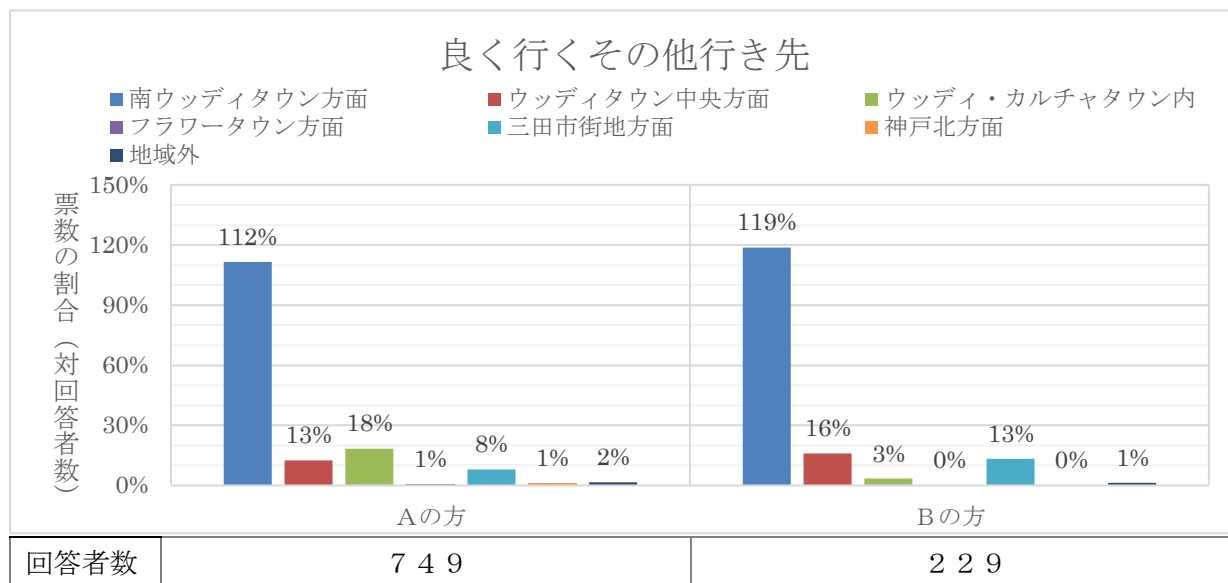


移動方面	南ウッディタウン	ウッディタウン中央	ウッディ・カルチャータウン内(南、中央除く)	フラワータウン	三田市街地	神戸北	地域外
主な行き先	えるむプラザ、NAS、カラオケスカイ、ゲオ、コーナン他	WT市民センター、図書館 WT、イオン三田ウッディタウン店、イオンシネマ、あずさ珈琲他	駒ヶ谷運動公園、平谷川緑地、あかしあ台公園、はじかみ池公園、ウッディタウン中央公園、あかしあ台コミュニティハウス、アーバンゴルフ練習場他	フラワータウン市民センター他	三田阪急、キッピーモール、郷の音ホール、有馬富士公園、城山公園、三田ボーリングセンター他	イオンモール神戸北、三田神戸アウトレット他	神戸、西宮、大阪、近隣ゴルフ場他

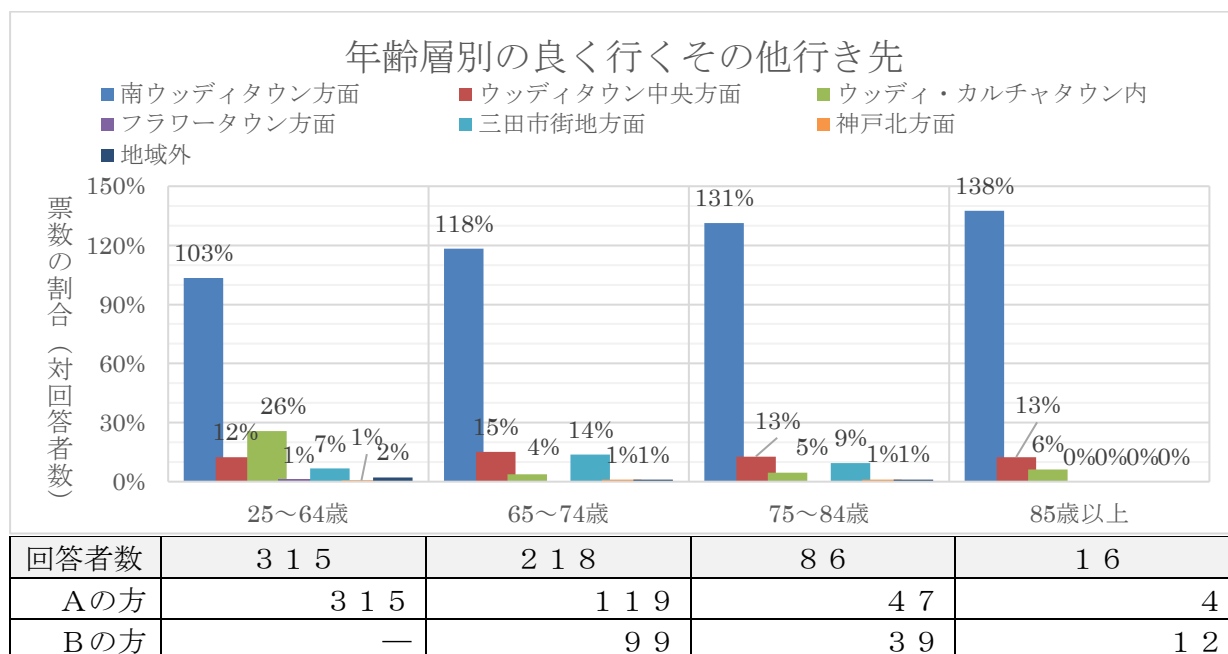


4) その他(役所・銀行・郵便局・学校など)

・A、Bの方とも、「南ウッディタウン方面」が最も多く、近場の銀行や郵便局を利用する目的で行かれている。年齢層分析では、買い物と同様に、高齢者程、より近場に行かれる傾向が見られる。

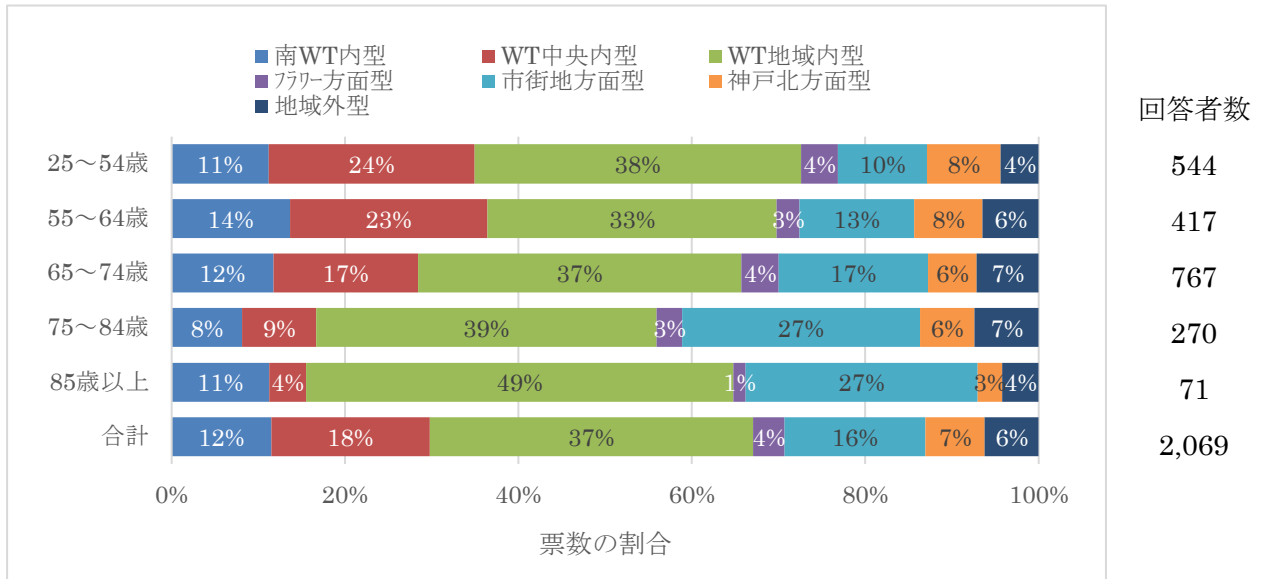


移動方面	南ウッディタウン	ウッディタウン中央	ウッディ・カルチャタウン内(南、中央除く)	フラワータウン	三田市街地	神戸北	地域外
主な行き先	えるむプラザ(銀行、郵便局など)他	WT市民センター、信金(WT中央)、けやき台郵便局、イオン三田ウッディタウン店他	あかしあ台小学校、新三田駅他	特に多いところなし	三田市役所、三田駅前銀行他	特に多いところなし	特に多いところなし



5) 行き先パターン分析：年齢層別（AとBの方合計）

・回答者の交通行動を行き先範囲別に7つのパターンに層別して分析した。7つのパターンは、表の下部<>の定義の通りである。行き先パターンとしては、「地域外型」や「神戸北方面型」及び「フラワー方面型」は限定されるが、「市街地方面型」と「WT 地域内型」が地域内交通の主流であることが見て取れる。その他、75歳未満で「WT 中央内型」の多いことが注目される。

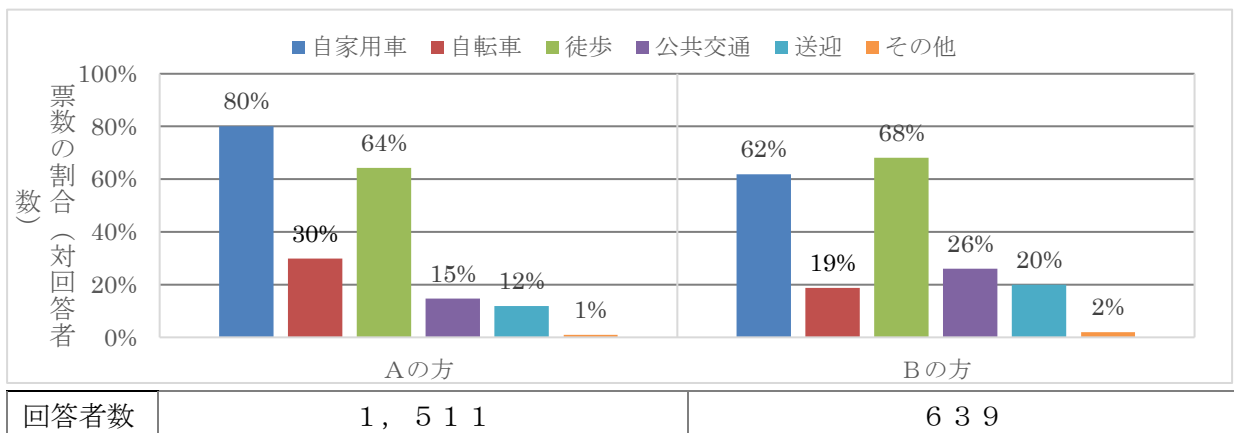


<行き先パターン 南 WT 内型：南ウッディタウン方面、WT 中央内型：ウッディタウン中央方面+南ウッディタウン方面、WT 地域内型：ウッディ・カルチャータウン内（南ウッディタウン方面、ウッディタウン中央方面含む）、フラワー方面型：フラワータウン方面+ウッディ・カルチャータウン内、市街地方面型：三田市街地方面+フラワータウン方面+ウッディ・カルチャータウン内、神戸北方面型：神戸北方面+三田市街地方面+フラワータウン方面+ウッディ・カルチャー内、地域外型：地域外方面+神戸北方面+三田市内>

② そこまでの主な移動手段（複数回答4つまで）

1) 良く利用される移動手段

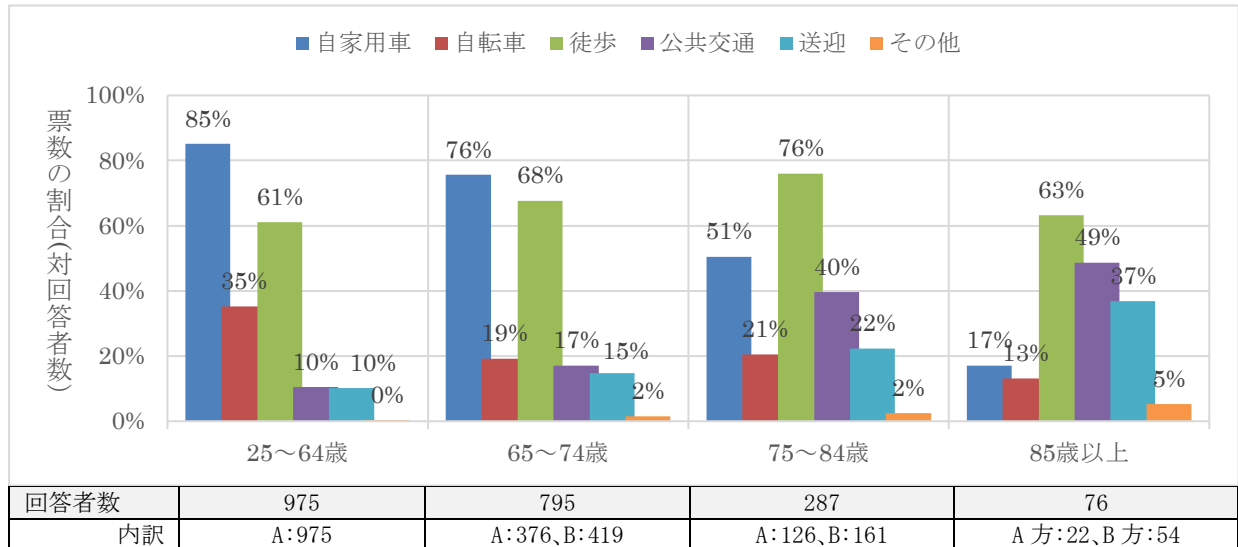
・日常の買い物、通院、ゆしみ及びその他の目的で良く行かれる行き先に対して、どのような移動手段によっているか4つまで挙げて頂くよう尋ねたものである。その結果、A、Bの方とも、「自家用車」と「徒歩」が多いという回答であった。その他、自転車は、Aの方で30%、Bのかたで19%使われていた。思いの外少なかった。公共交通や送迎は、Aの方で12~16%、Bの方で20~26%使われており、高齢層ほど良く使われていることが伺える結果であった。



## 2) 移動手段の年齢層別分析

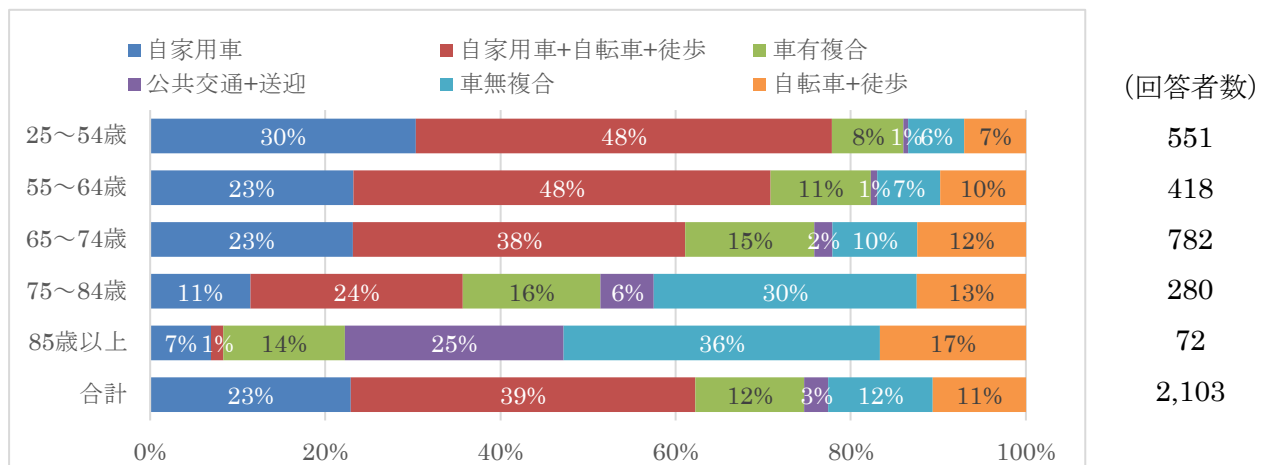
### ① 個々の移動手段

・高齢化するにつれて、自動車を利用する方が著しく減少する。75歳代層では50%程度となり、85歳以上層では20%弱にもなる。自転車を利用する方もやや減少する。一方、公共交通及び送迎を利用する方がかなり増える。公共交通の利用は、75歳代層では40%になり、85歳以上層では約50%に達する。



### ② 移動手段パターン

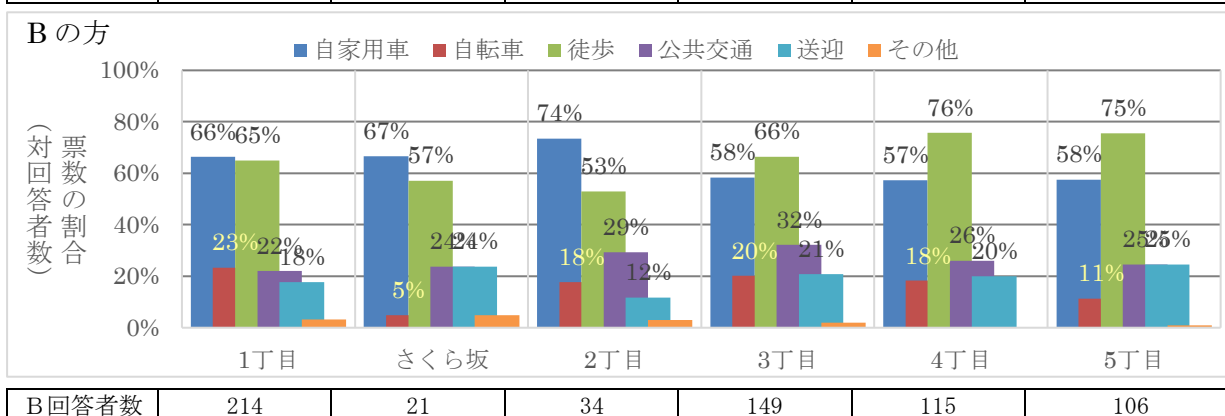
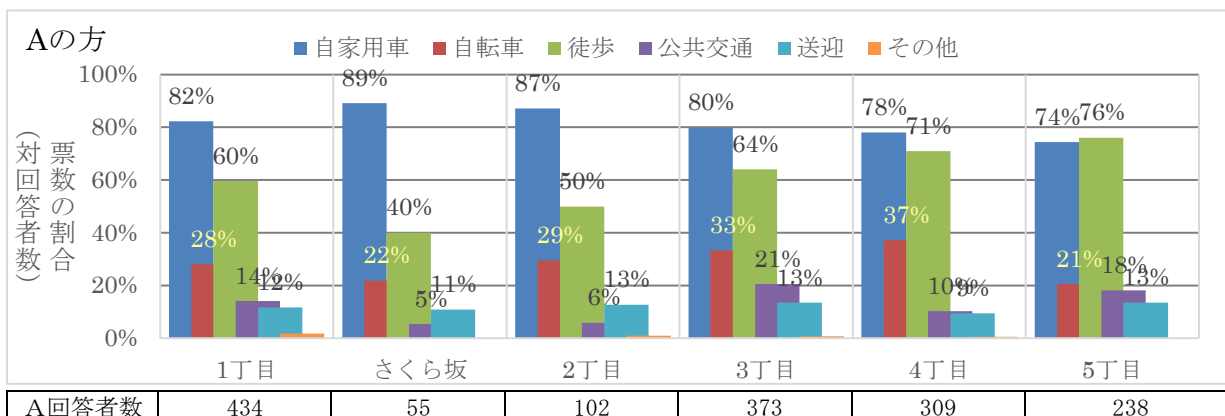
・回答者の交通行動を移動手段の組合せ別に6つのパターンに層別して分析した。6つのパターンは、表の下部<>の定義の通りである。移動手段パターンとしては、自家用車利用（自家用車のみ+（自家用車+自転車+徒歩）+車有複合）が成人層において大部分を占めるが、高齢になり、75歳位を境に逆転する。自家用車を利用しない方は、75歳代層で50%、85歳以上層で80%となり、①と同じ結果である。



<移動手段パターン 車有複合：自家用車+自転車+徒歩+公共交通+送迎、車無複合：自転車+徒歩+公共交通+送迎、その他は表記通り>

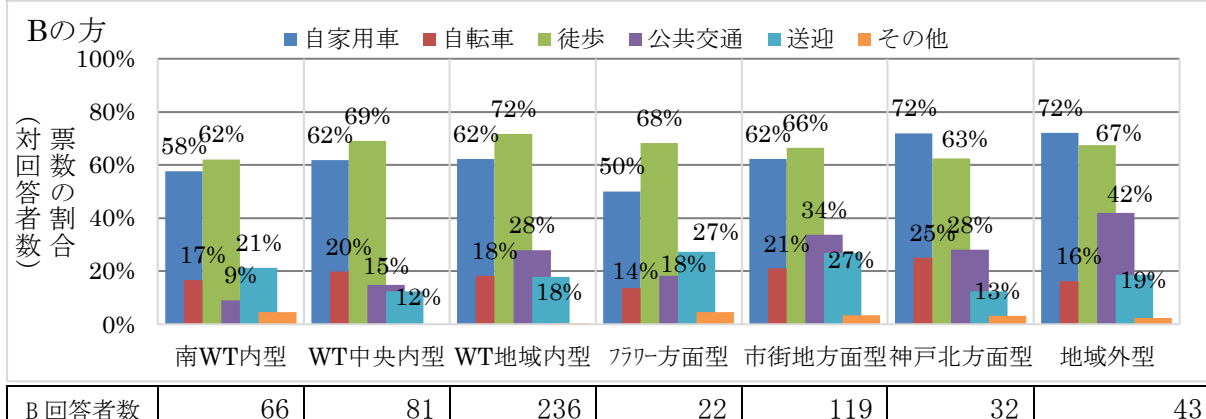
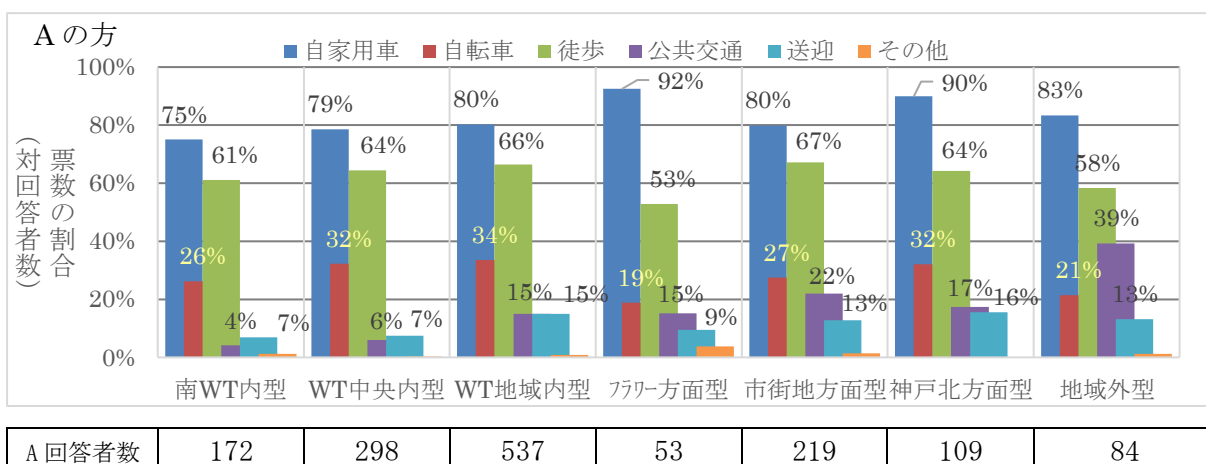
## 3) 移動手段の地域別分析

・さくら坂と2丁目は、目的のところまで少し遠いこともあり自家用車がやや多く徒歩がやや少ない。一方、4丁目と5丁目は、目的のところまで近いため徒歩がやや多く自家用車がやや少ない。なお、公共交通は、3丁目がやや多い。目的のところまで、そこそこの距離がある上に路線バスが住宅地の東側と西側に2ルートあることも影響していると思われる。



#### 4) 移動手段の行き先パターン別分析

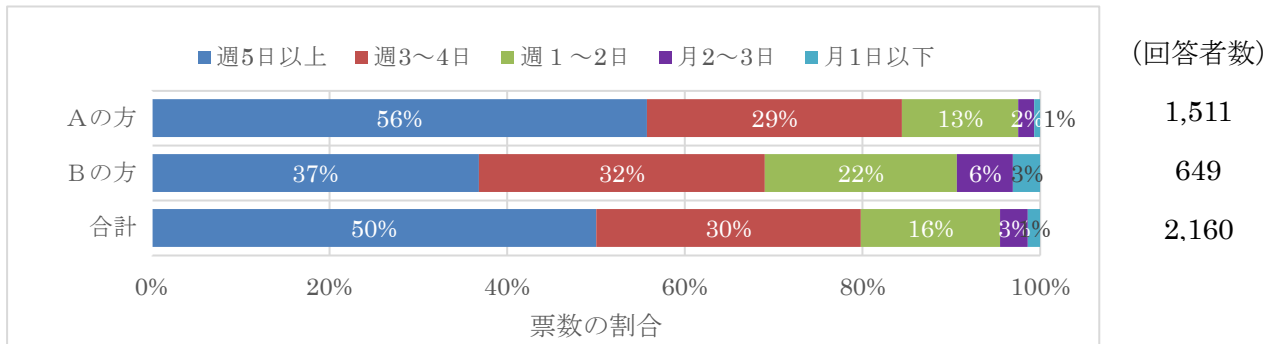
・A、Bの方とも、三田市街地方面、神戸北方面又は地域外方面など比較的遠方に行かれる方の場合に公共交通を多く利用される傾向が見られる。加えて、高齢層Bの方では、WT地域内方面に公共交通を利用されることが多い。



### ③ 外出の日数

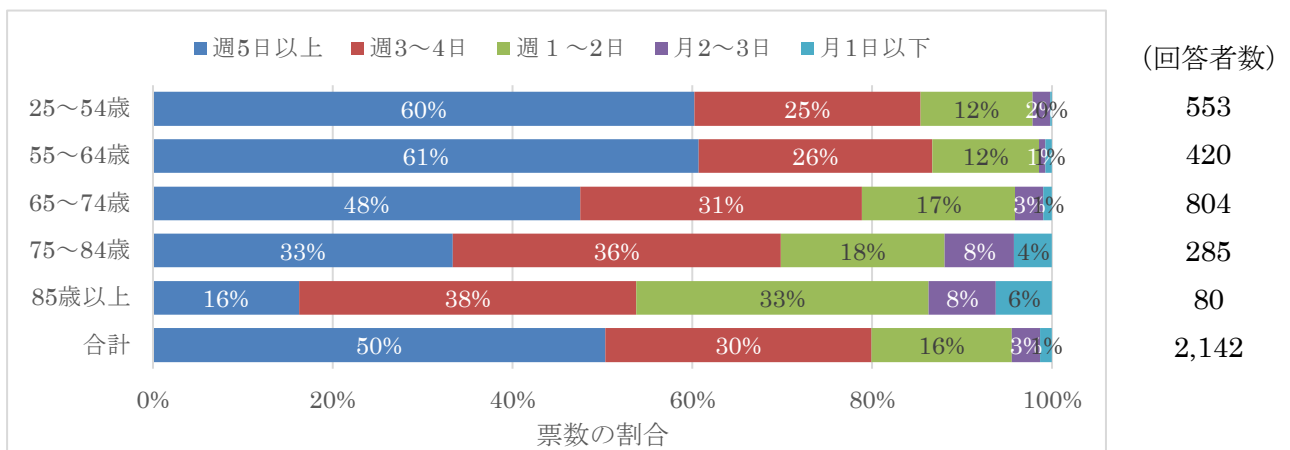
#### 1) 良く外出される日数

・週3~4日以上外出の方が、Aの方で85%、Bの方で70%弱であり、良く外出されている。



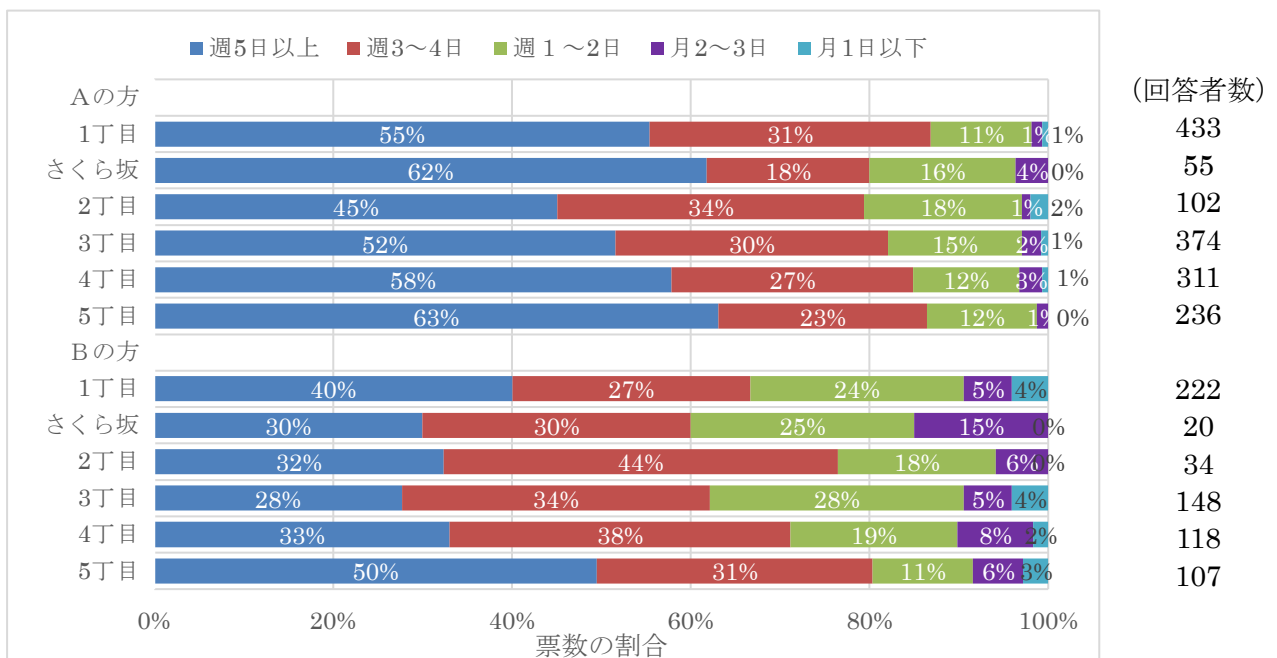
#### 2) 外出日数の年齢層別分析

・高齢層ほど、外出頻度が少なくなっている。75歳代層になると月2~3日以下が10%を超える。



#### 3) 外出日数の地域別分析

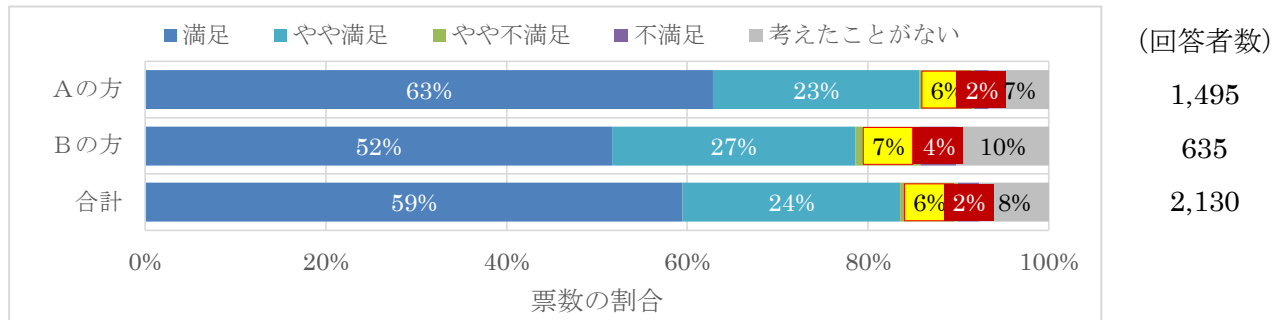
・A、Bの方とも、大きな地域差は認められない。強いて挙げれば、さくら坂、2丁目及び3丁目の外出頻度がやや少ない程度である。



#### ④ 現在の交通行動の満足度

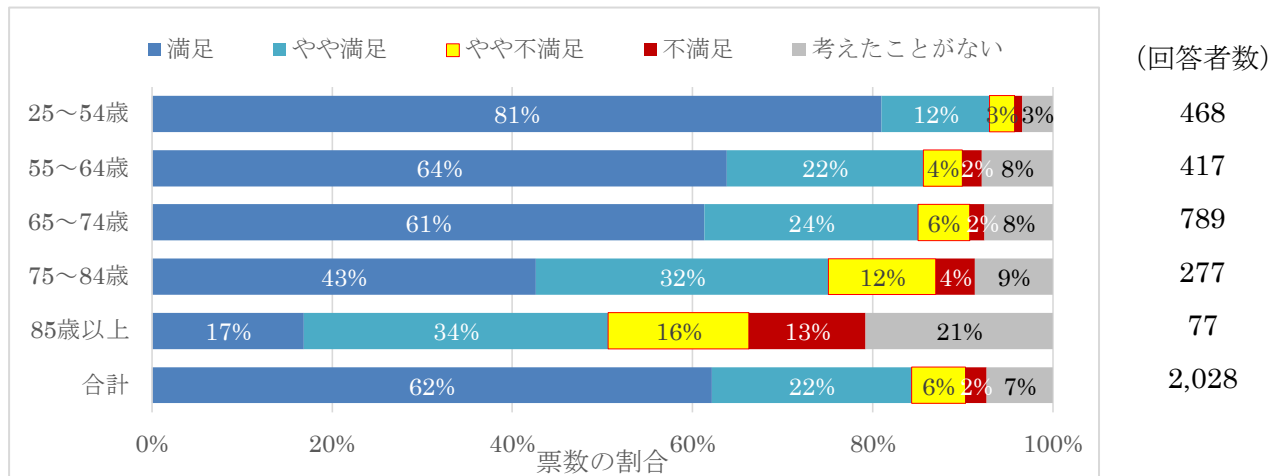
##### 1) 現在の交通行動の満足度

・「満足状態」（満足+やや満足の総称、以下同じ）がAの方で86%、Bの方で79%、「不満足状態」（不満足+やや不満足の総称、以下同じ）がAの方で8%、Bの方で11%との回答を得た。全体として満足度の高い水準にあること、その一方で一定数の方が満足度の低い水準にあると感じられていることが明らかになった。



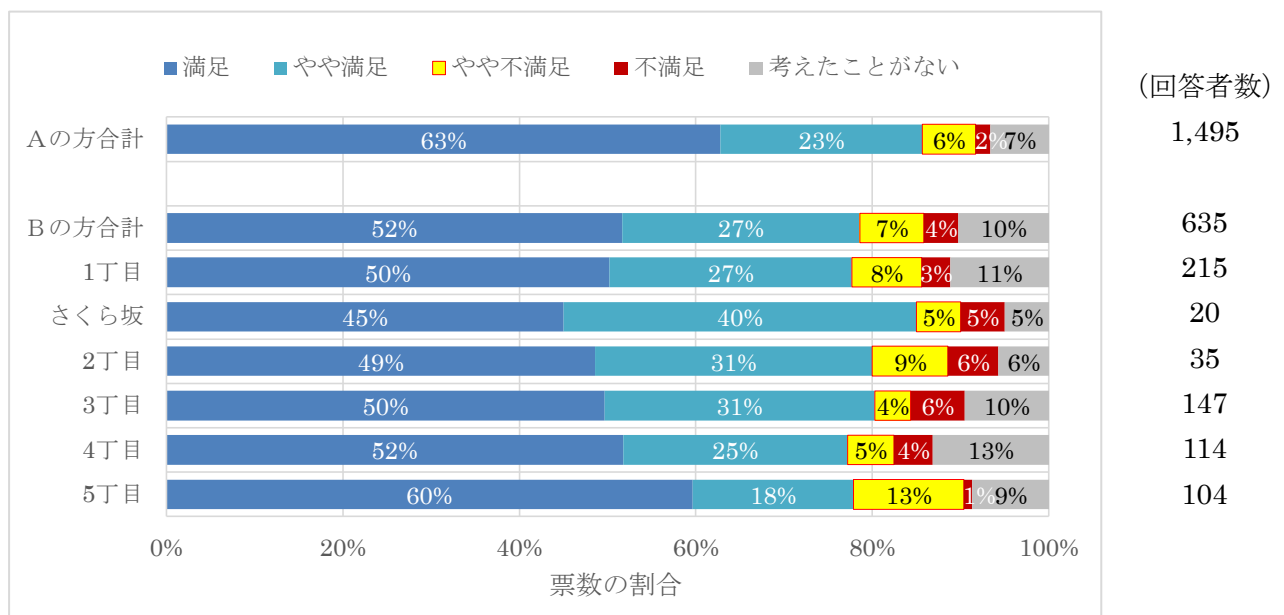
##### 2) 満足度の年齢層別分析

・高齢になる程、「不満足状態」の方が増える傾向にある。75～84歳層では16%に、85歳以上層で29%に増大することが認められた。



##### 3) 満足度の地域別分析

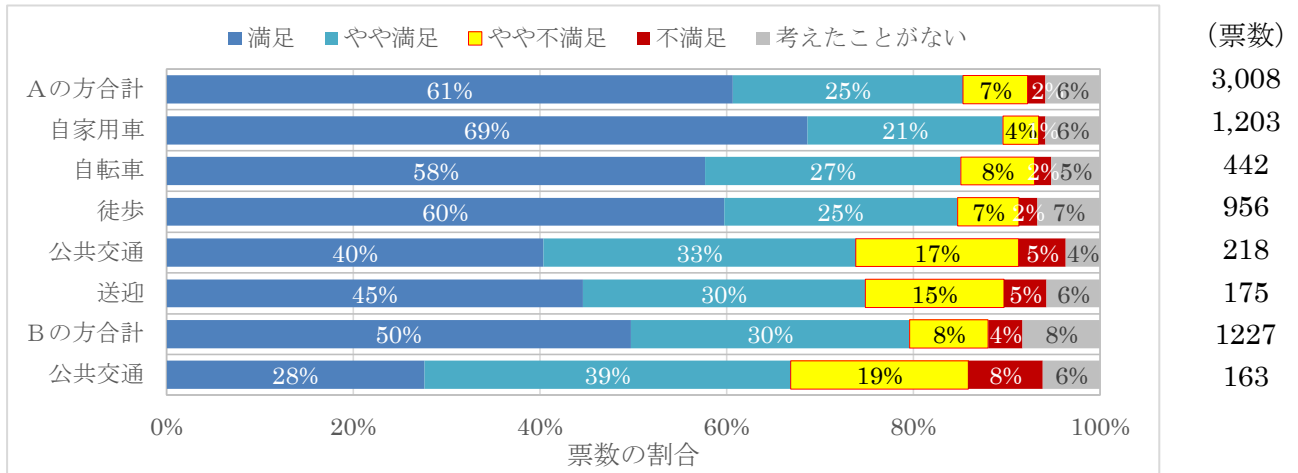
・「不満足状態」の方の多いBの方について見ても、地域別の大きな差異は認められない。



#### 4) 満足度の交通手段別分析

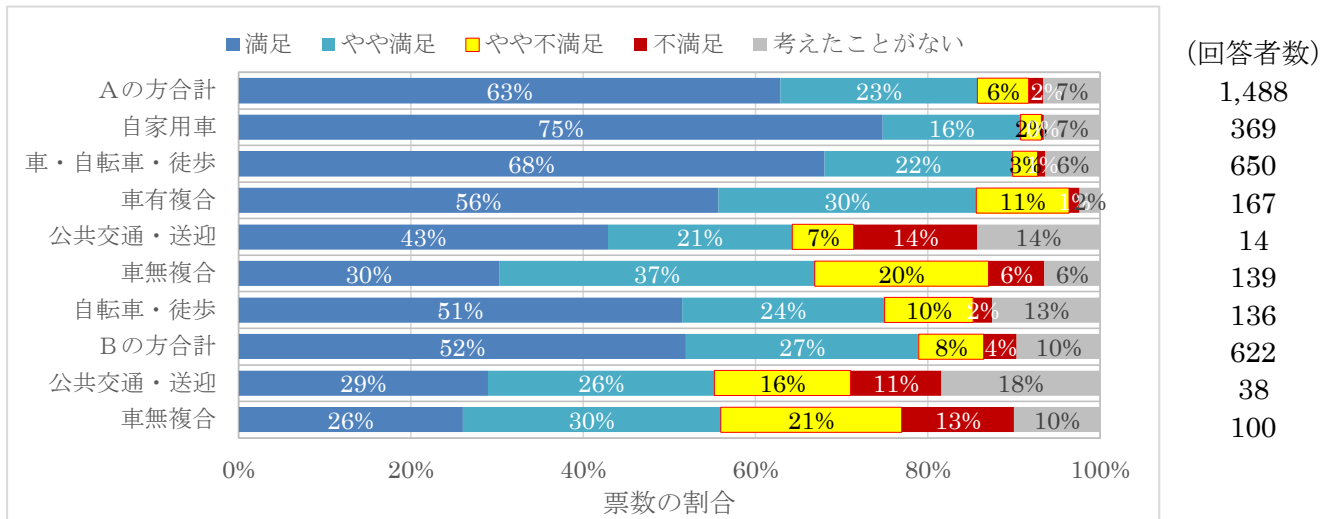
##### ① 個々の移動手段からみた分析

・満足度は、自家用車が極めて高いが、公共交通と送迎ではやや低くなっている。公共交通の「不満足状態」は、Aの方で22%、Bの方で27%である。



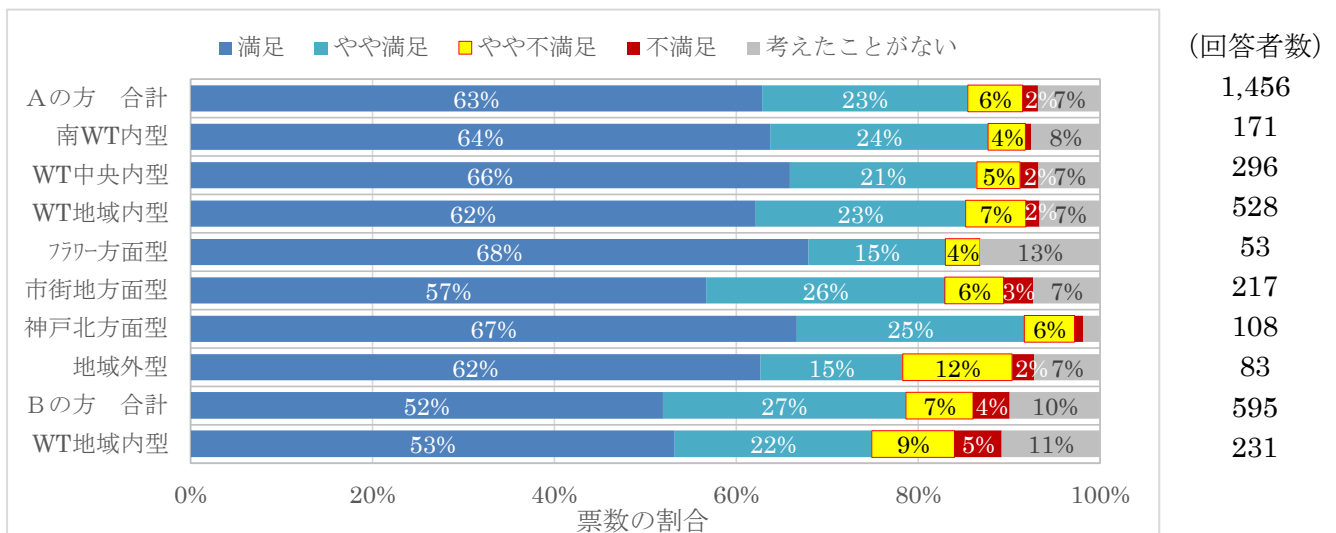
##### ② 移動手段パターンから見た分析

・満足度は、自家用車を利用するパターンでは極めて高いが、使わないパターンでやや低くなる。①と同じである。



#### 5) 満足度の行き先別分析

・満足度は、行き先別の理解しうる差異は認められない。





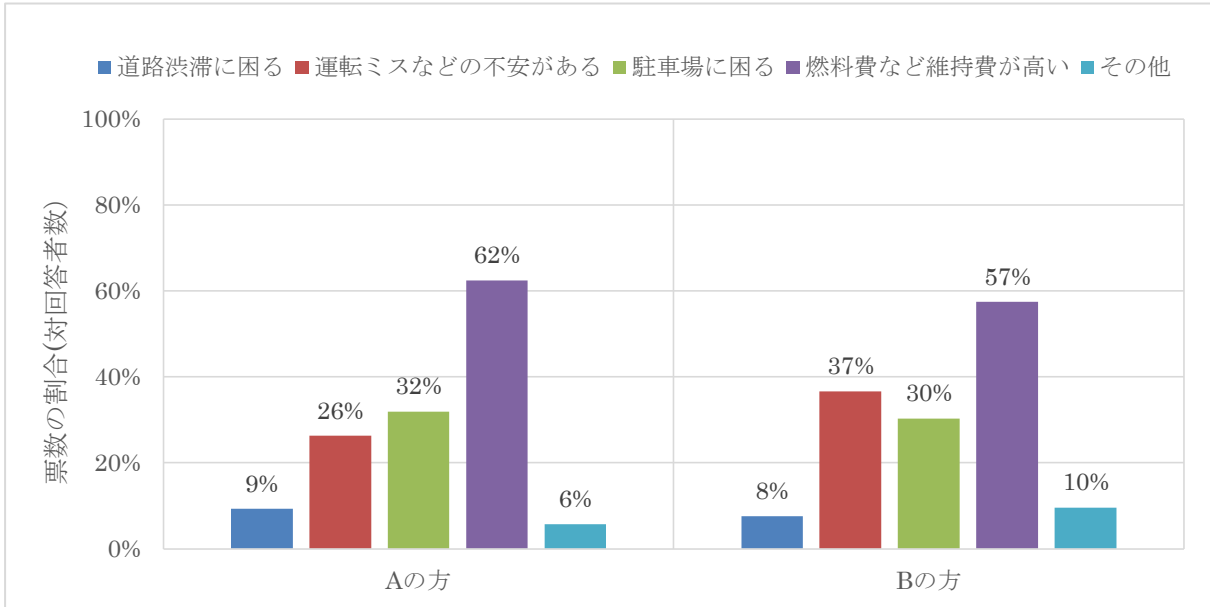
⑤ 現在の交通行動における困りごと（移動手段ごとに3つまで複数回答）

1) 自家用車

① 指摘事項

・Aの方からは、「燃料費など維持費が高い」との指摘が最も多かった。次いで、「駐車場に困る」であった。

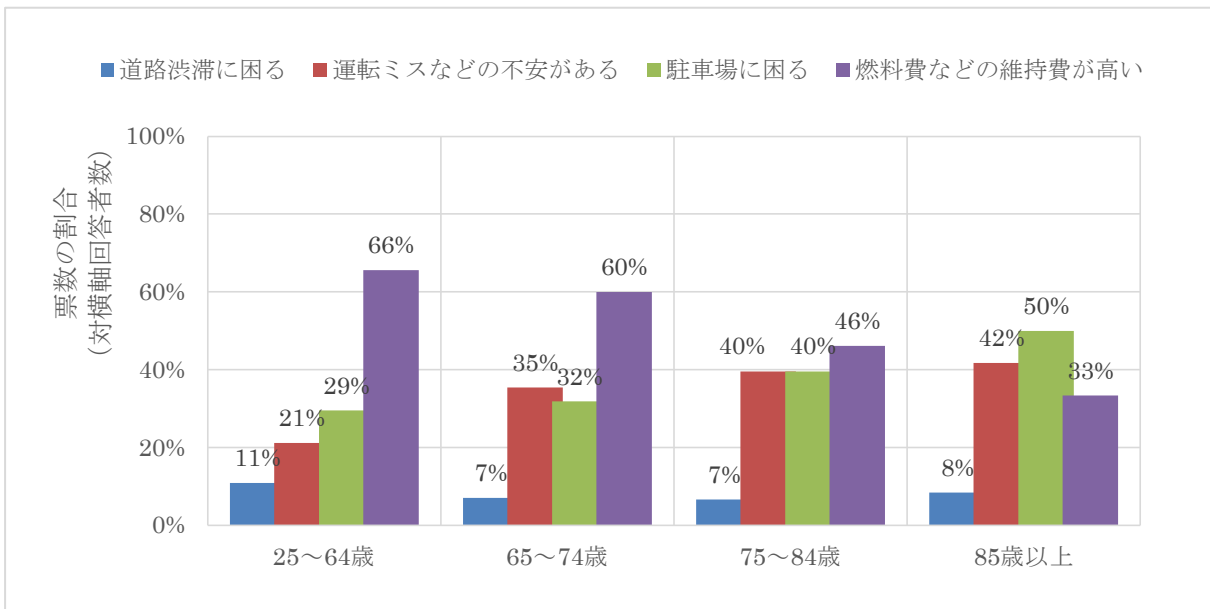
・Bの方も、Aの方よりも幾分指摘低い「燃料費など維持費が高い」が最も多かった。次いで、Aの方と異なり、「運転ミスなどの不安がある」が「駐車場に困る」を上回った。



回答者数	Aの方	743	Bの方	261
------	-----	-----	-----	-----

② 年齢層別分析

・高齢になる程、「燃料費など維持費が高い」の指摘が下がる一方で、「駐車場に困る」と「運転ミスなどの不安がある」が高くなる傾向であることが分かった。75歳代層で、3者はほぼ同等のお困り具合となり、85歳以上層で逆転する。



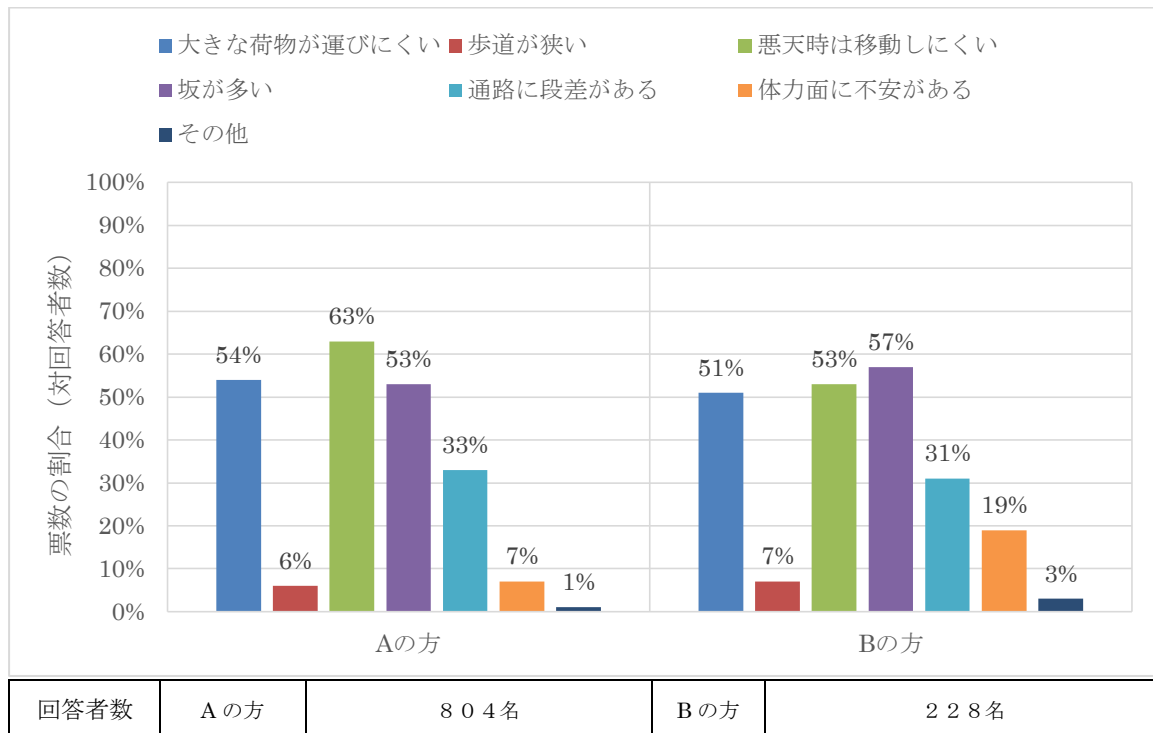
回答者数	506	387	91	12
------	-----	-----	----	----

2) 自転車

① 指摘事項

・Aの方からは、「悪天時は移動しにくい」との指摘が最も多かった。次いで、「大きな荷物が運びにくい」と「坂が多い」と「道路に段差がある」であった。

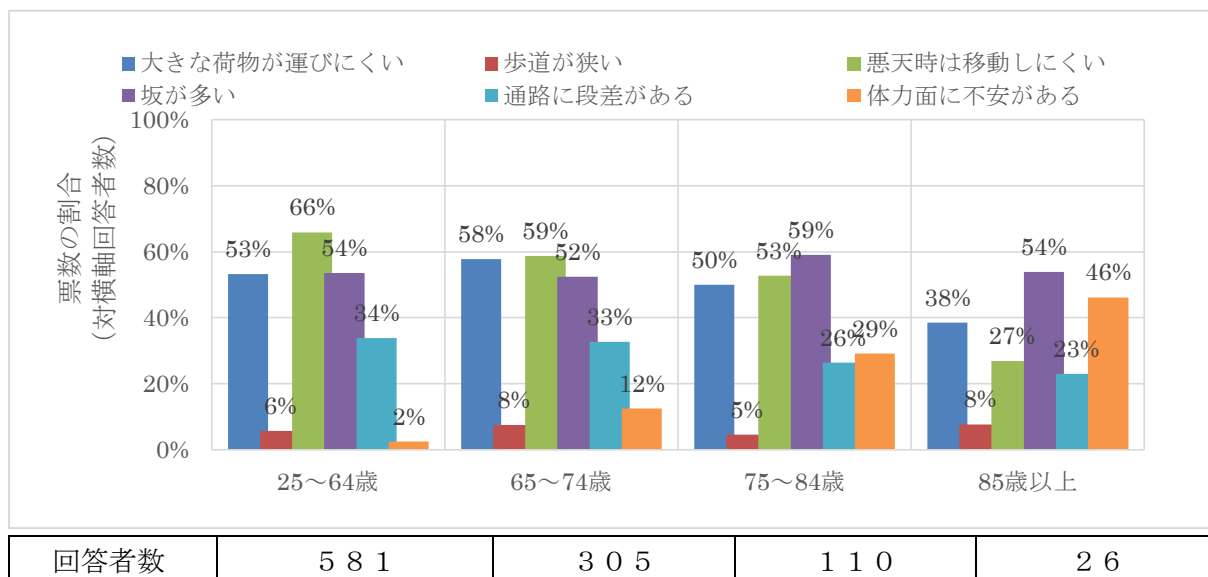
・Bの方も、Aの方と同様に4項目について指摘が多かった。但し、最も多かったのは、Aの方と異なり「坂が多い」であった。



② 年齢層別分析

・高齢になる程、「悪天時は移動しにくい」、「大きな荷物が運びにくい」及び「通路に段差がある」の指摘が下がる一方で、「坂が多い」は余り変わらない傾向のあることが分かった。そのため、75歳代以上層では、「坂が多い」が最も多くなっている。

特筆すべきこととして、「体力面に不安がある」が75歳以上層で著しく多くなり、85歳以上層では2番目に多い指摘になっていることが挙げられる。

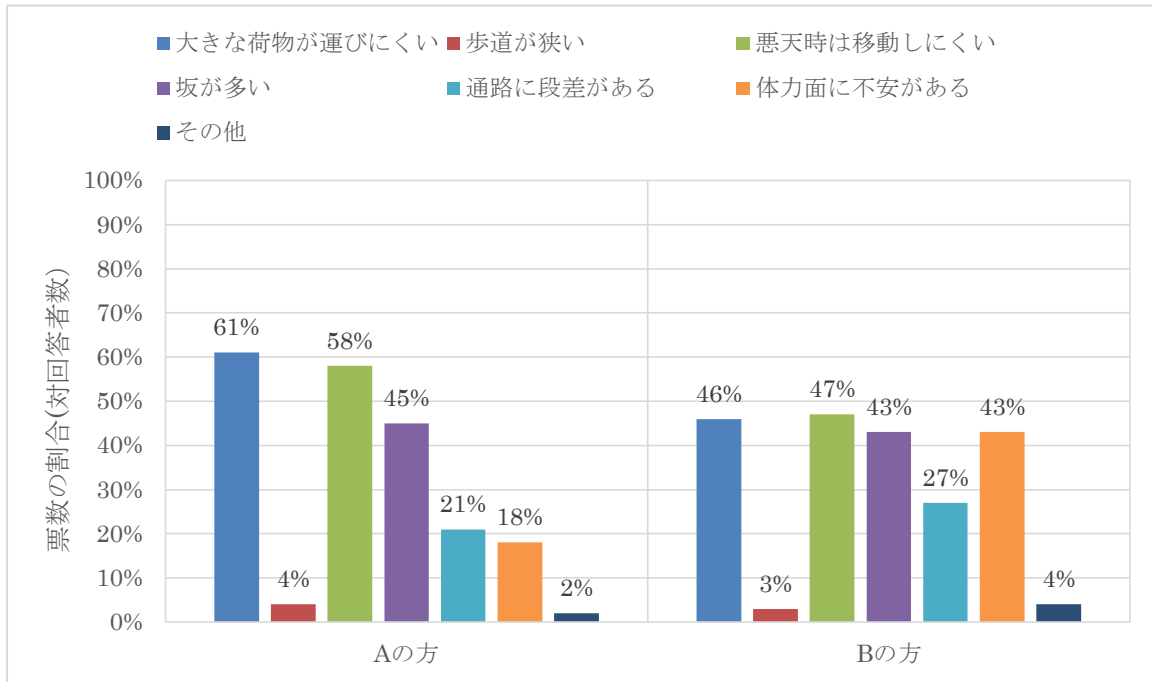


#### 4) 徒歩

##### ① 指摘事項

・ Aの方からは、「大きな荷物が運びにくい」との指摘が最も多かった。次いで、「悪天時は移動しにくい」と「坂が多い」であった。

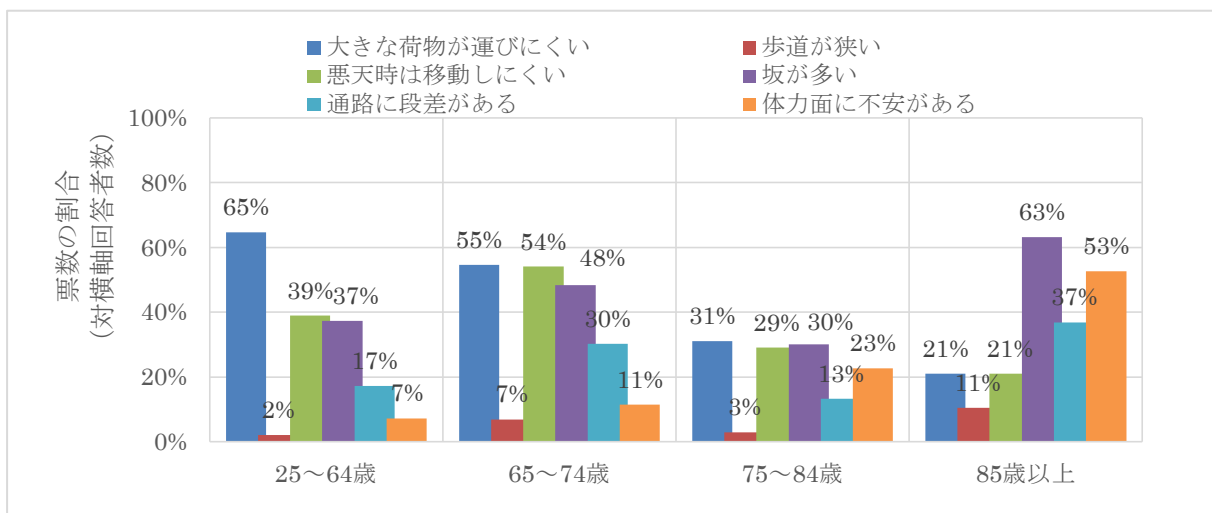
・ Bの方は、Aの方の3項目に「体力面に不安がある」を加えた4項目について、いずれも同じくらいの比較的多い指摘があった。



回答者数	Aの方	664名	Bの方	294名
------	-----	------	-----	------

##### ② 年齢層別分析

・ 高齢になる程、「大きな荷物が運びにくい」及び「悪天時は移動しにくい」の指摘が下がる一方で、「体力面に不安がある」が著しく増える傾向のあることが分かった。そのため、75歳代以上層では、「体力面に不安がある」が2番目に多くなっている。



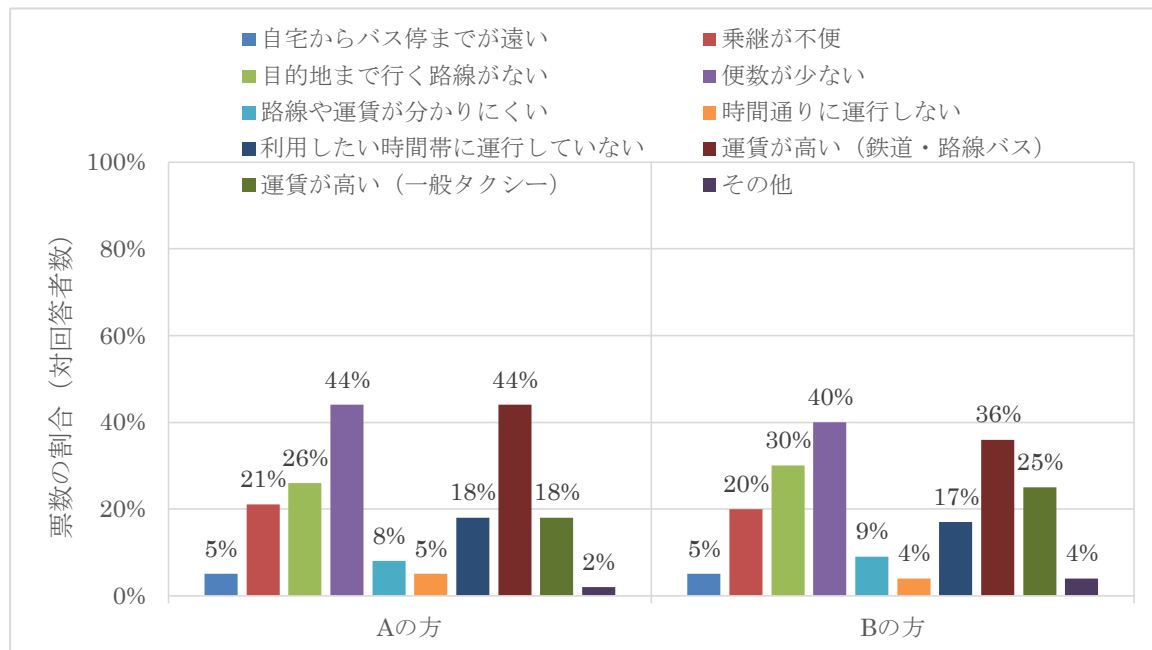
回答者数	413	331	203	19
------	-----	-----	-----	----

## 5) 公共交通

### ① 指摘事項

・Aの方からは、「便数が少ない」と「運賃が高い（鉄道・路線バス）」との2項目が最も多かった。次いで、「目的地まで行く路線がない」、「乗継が不便」などであった。

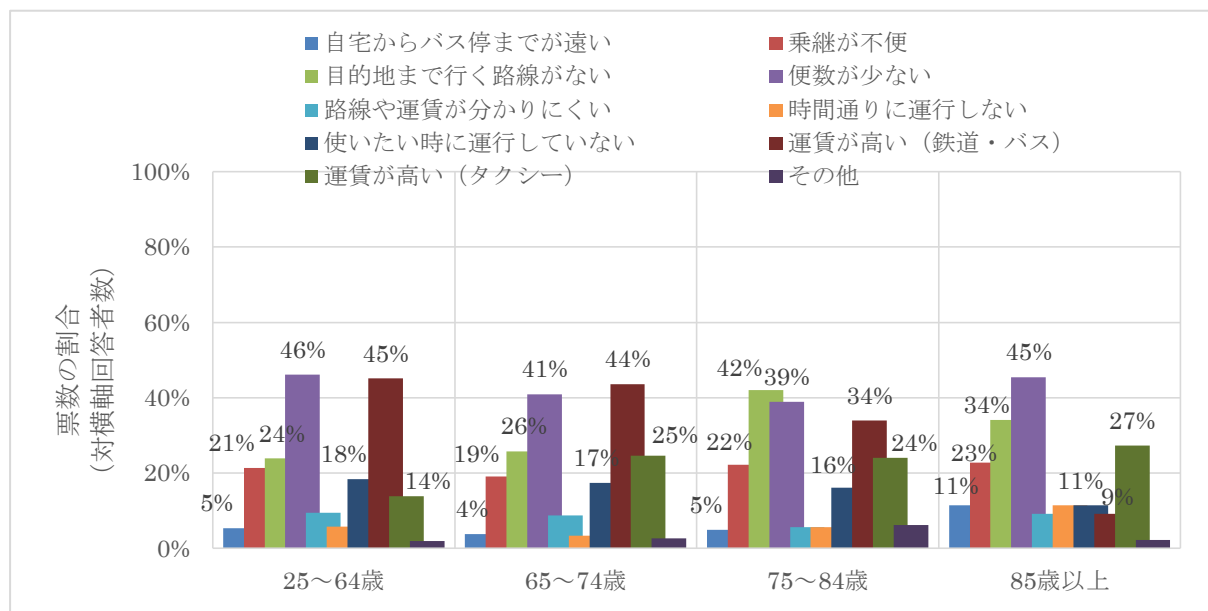
・Bの方も同様に、Aの方の指摘4項目が多かった。Bの方の特徴は、「運賃が高い（タクシー）」が比較的多かったことである。



回答者数	Aの方	Bの方
	918名	357名

### ② 年齢層別分析

・高齢になる程、「運賃が高い(鉄道・路線バス)」の指摘が下がる一方で、「便数が少ない」と「乗継が不便」は余り変わらず、そして「運賃が高い(タクシー)」が増える傾向のあることが分かった。そのため、75歳代以上層では、「運賃が高い(タクシー)」が「運賃が高い(鉄道・路線バス)」を上回る傾向になっている。



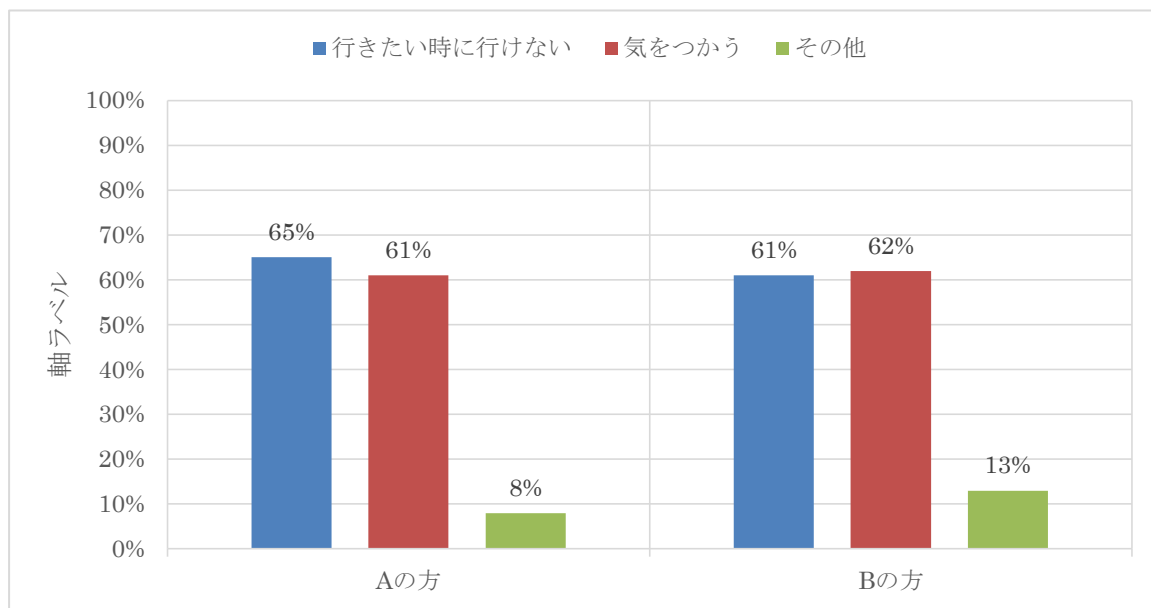
回答者数	25~64歳	65~74歳	75~84歳	85歳以上
	612	450	162	44

## 7) 送迎

### ① 指摘事項

・ Aの方からは、「行きたい時に行けない」の指摘が最も多く。次いで「気をつかう」であった。

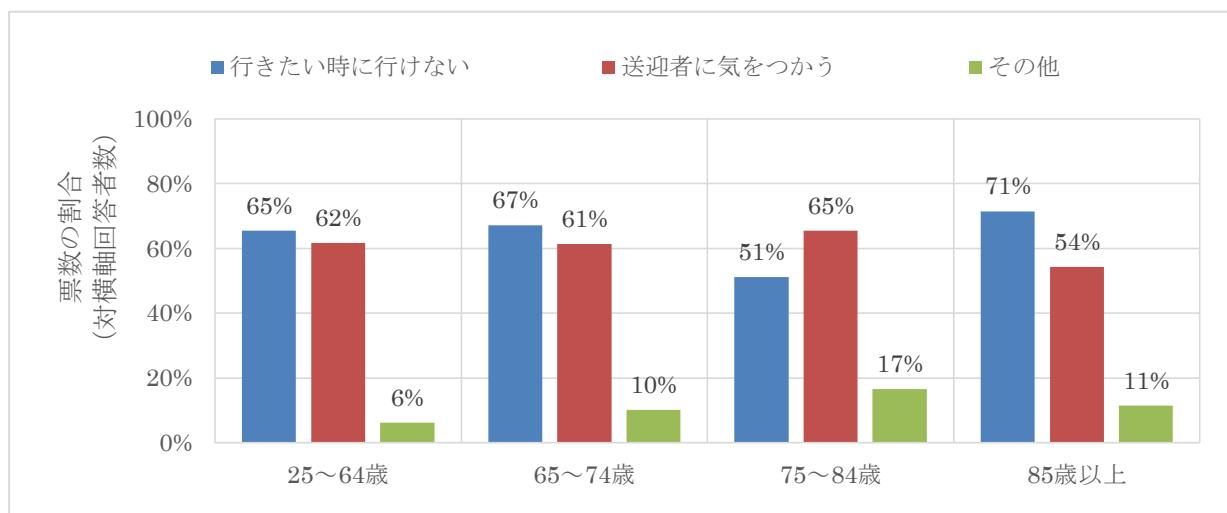
・ Bの方からは、同様に2項目の指摘が多かったが、「気をつかう」が幾分多い傾向であった。



回答者数	Aの方	376名	Bの方	175名
------	-----	------	-----	------

### ② 年齢層別分析

・ 高齢になるにつれて、「気をつかう」の指摘が下がる一方で、「行きたい時に行けない」が増える傾向が見られるが、決めつけられる数値ではなく殆ど変わらないと考えるのが良いと思われる。



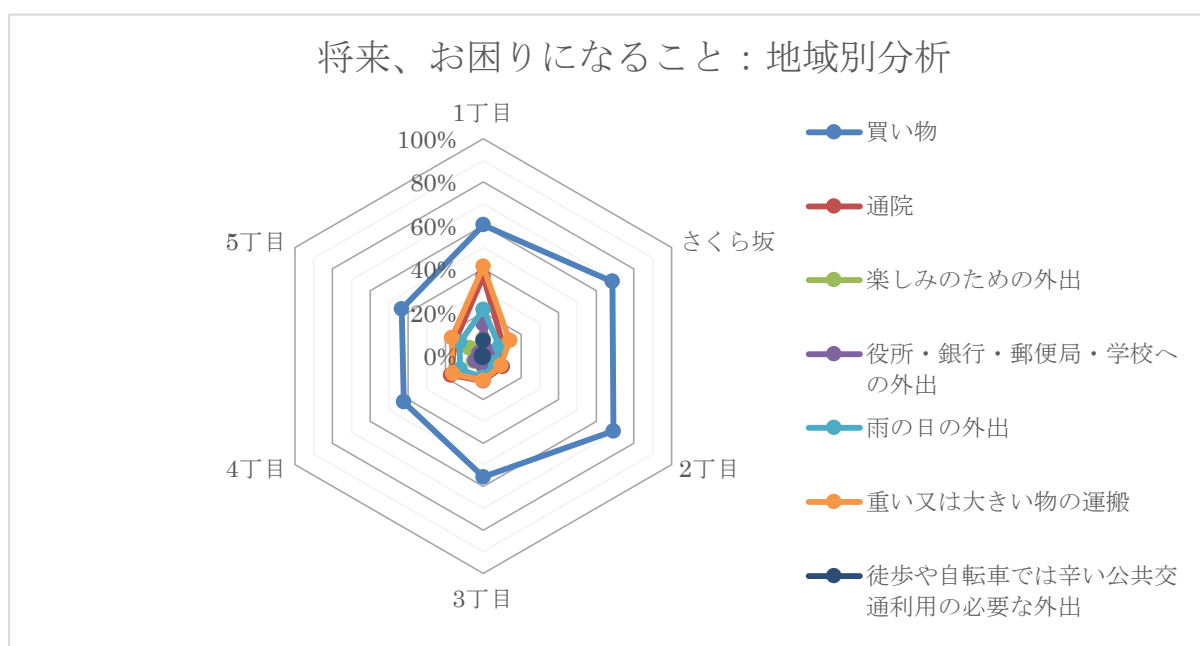
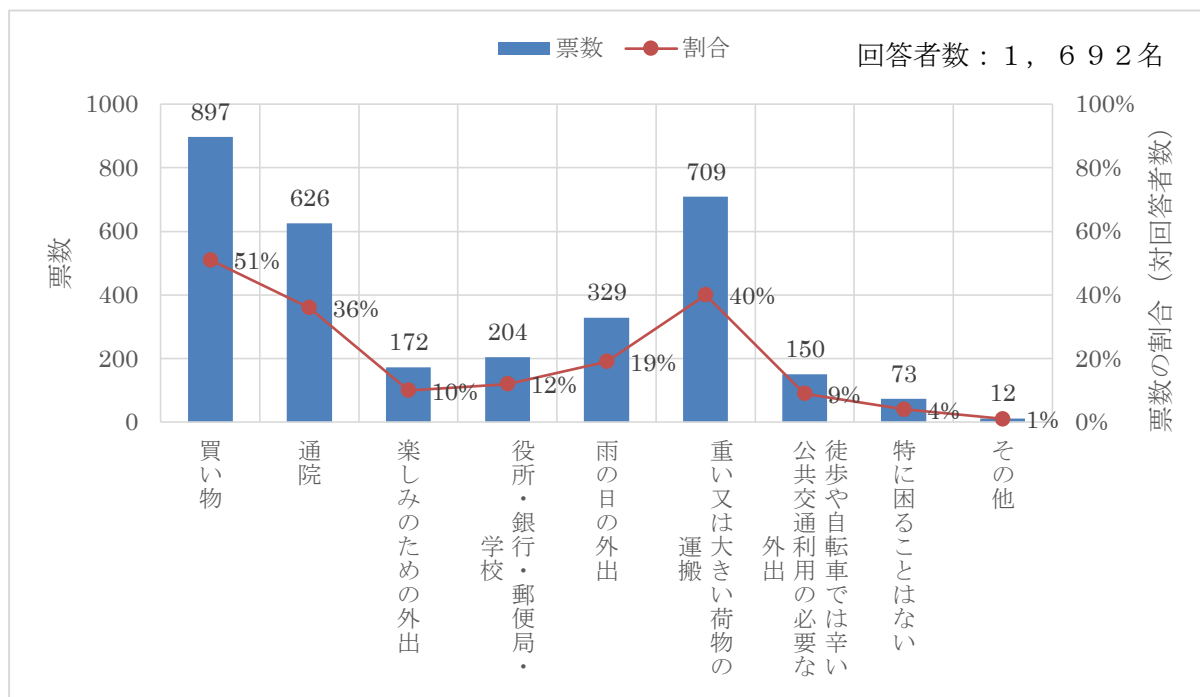
回答者数	243	186	84	35
------	-----	-----	----	----

## 5. 将来を見据えてなすべきこと（問5）

（1）将来、自家用車がない時にお困りになること（2つまで複数回答）

・今後高齢化が進み、免許返納などにより自家用車を使用できない方の増えることが予測されている。このような時代にあって、将来、自動車がない時にお困りになることを尋ねた。その結果は下図の通りで、「買い物」が最もお困りになるとの回答を得た。次いで「重い又は大きい荷物の運搬」、そして「通院」であった。

・地域別に見ると、お困りになっている中でも「買い物」において、さくら坂と2丁目のお困り具合が高く、次いで高いのが1丁目と3丁目であった。又、「重い大きい物運搬」と「通院」については、1丁目が高かった。

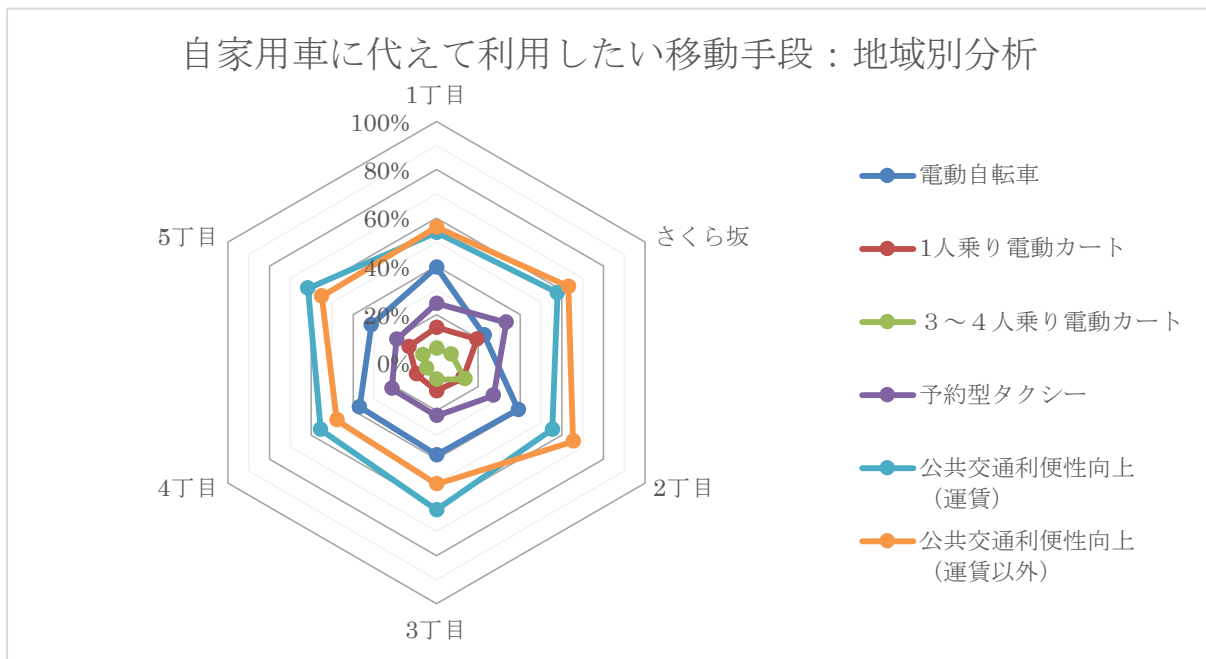
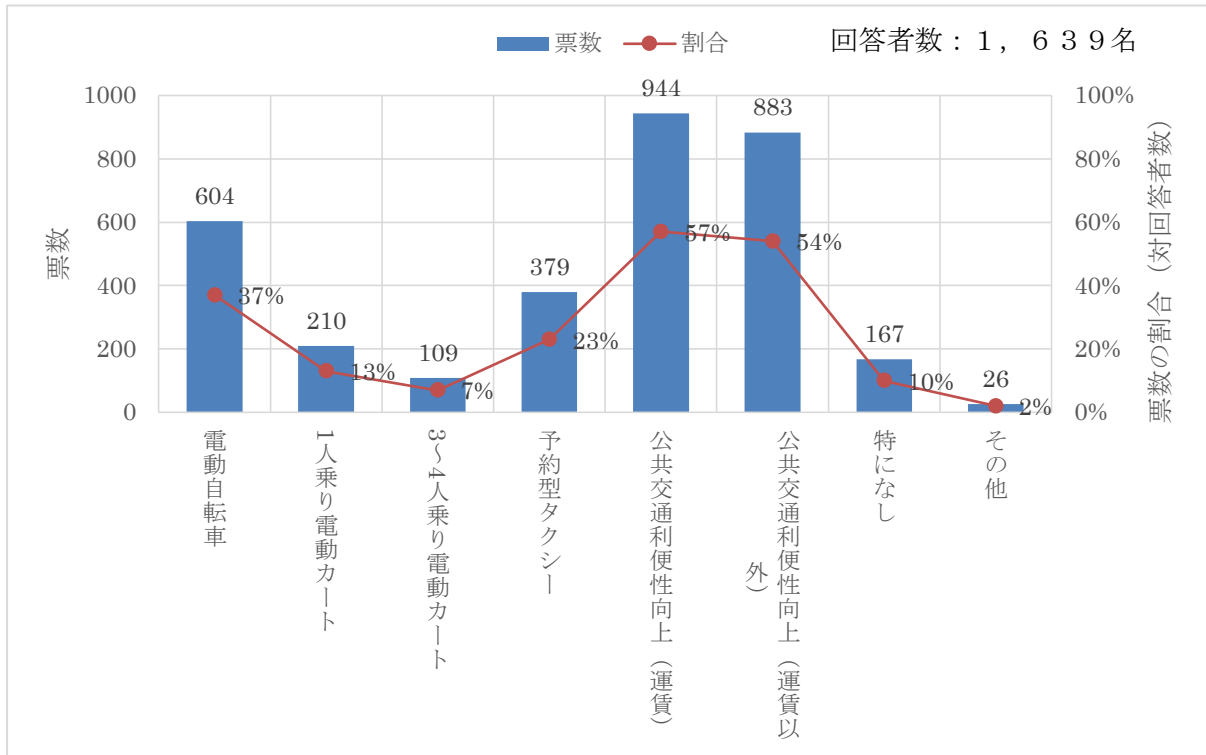


地域	1丁目	さくら坂	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	合計
回答者数	499	61	115	415	339	263	1,692

(2) 自家用車に代えて利用したい移動手段（3つまで複数回答）

・将来に備えて、自家用車に代えて利用したい移動手段について尋ねた。その結果は下図の通りで、「公共交通利便性向上（運賃）」が最も多く、次いで「公共交通利便性向上（運賃以外）」並びに「電動自転車」であった。予約型タクシーを希望する方も一定数あった。

・地域別に見ると、希望の多かった中で「公共交通利便性向上（運賃）」と「同左（運賃以外）」は、1丁目、さくら坂、2丁目において、運賃以外が運賃を幾らか上回る傾向にあった。又、「電動自転車」は、さくら坂の希望が他地域よりも少なかった。その一方、「予約型タクシー」の希望が幾分多かった。



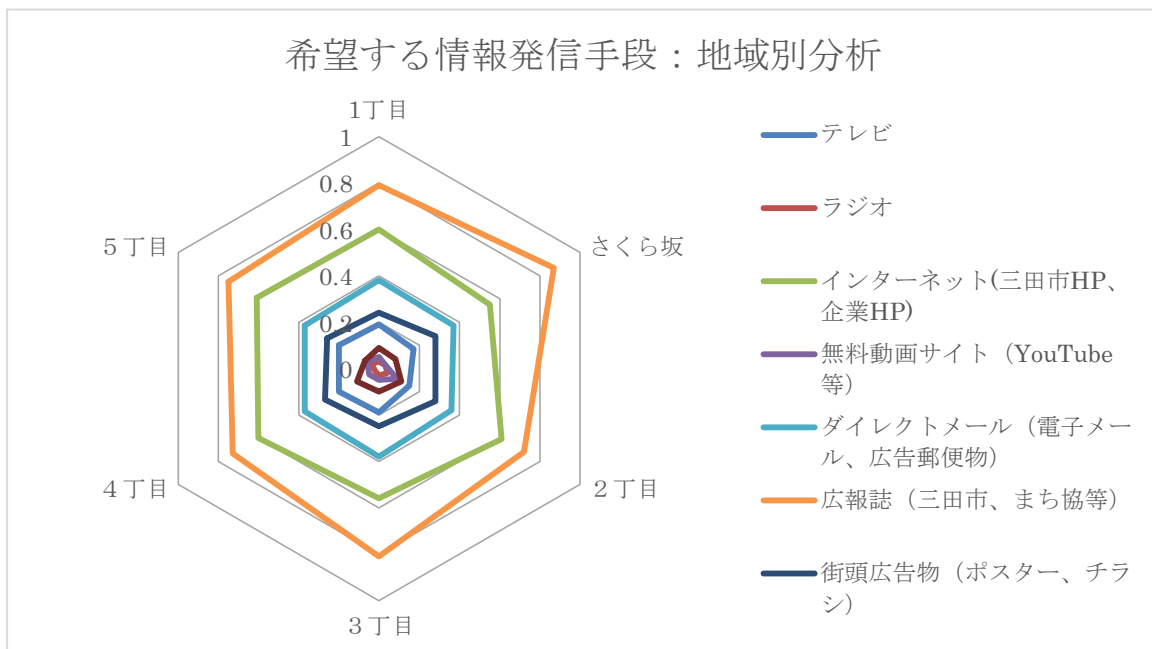
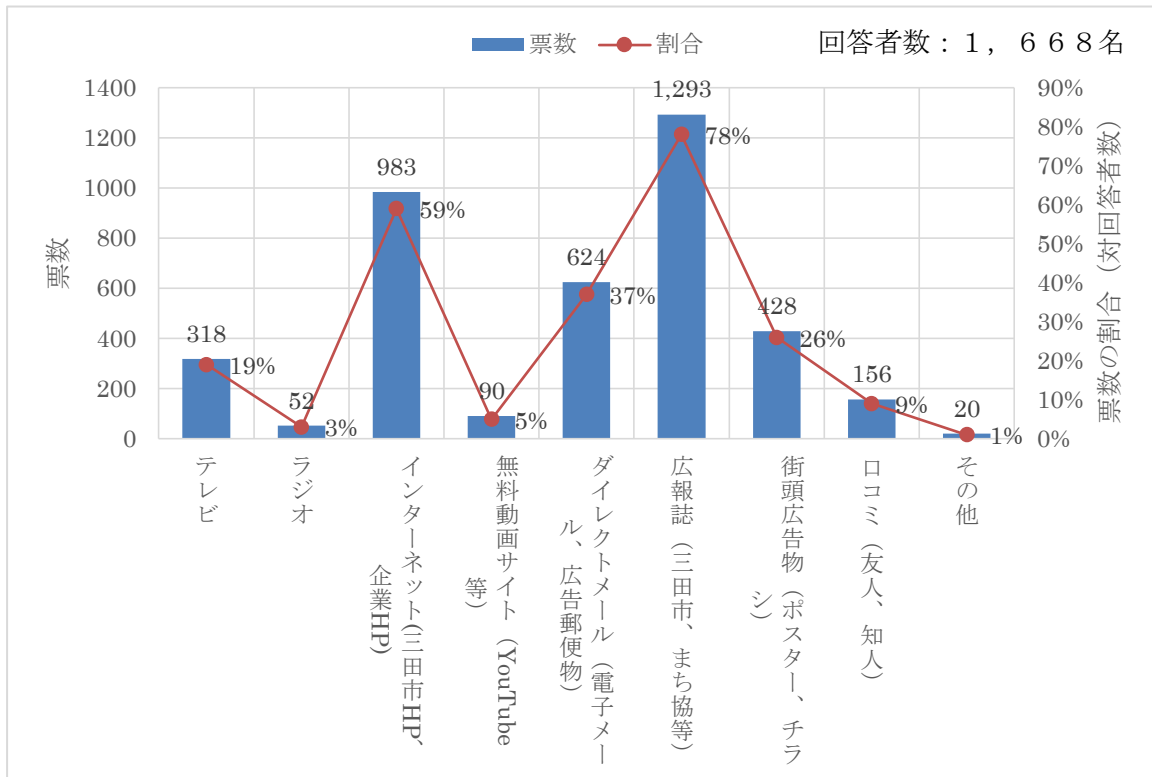
地区	1丁目	さくら坂	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	合計
回答者数	486	57	110	399	331	256	1,639

## 6. 公共交通に関する情報提供（問6）

### （1）希望する情報発信手段（3つまで複数回答）

・公共交通の利用拡大のための情報発信については、将来の地域内交通の利便性向上のキーになることから、今回の交通行動調査の一環として希望される情報発信手段について尋ねた。その結果は、下図の通りで、「広報誌（三田市、まち協等）」が最も多く、次いで、「インターネット（三田市HP、企業HP）」が多かった。「ダイレクトメール（電子メール、広告郵便物）」も一定数あった。

・地域別の状況について見てみたが、大きな差異は認められなかった。



地区	1丁目	さくら坂	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	合計
回答者数	494	60	113	408	333	260	1,668

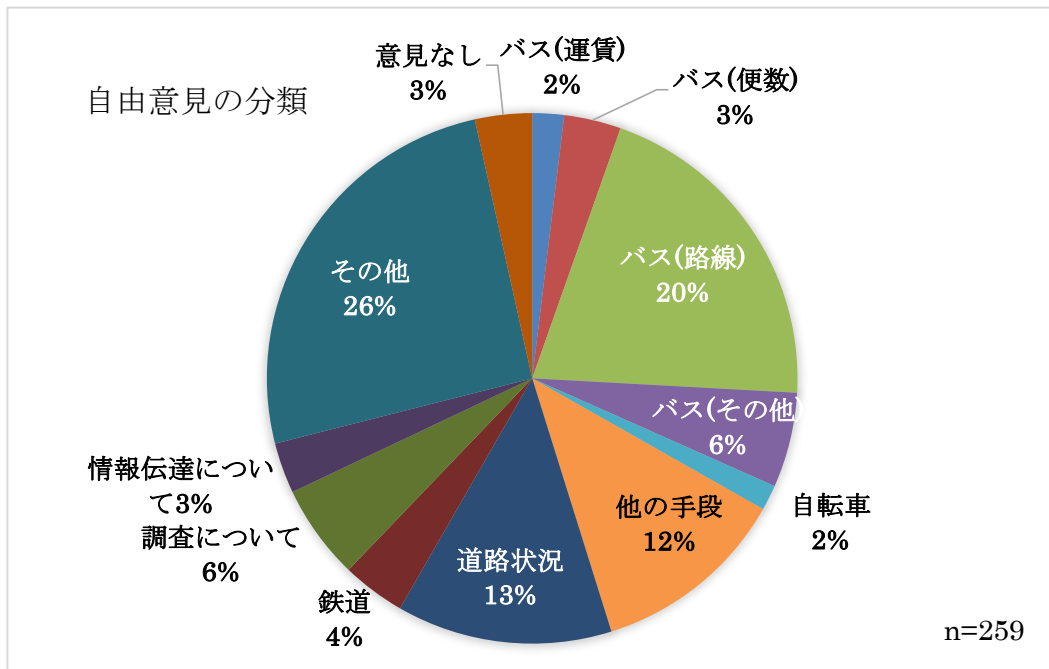


## 6. その他 (問7)

### (1) 自由意見

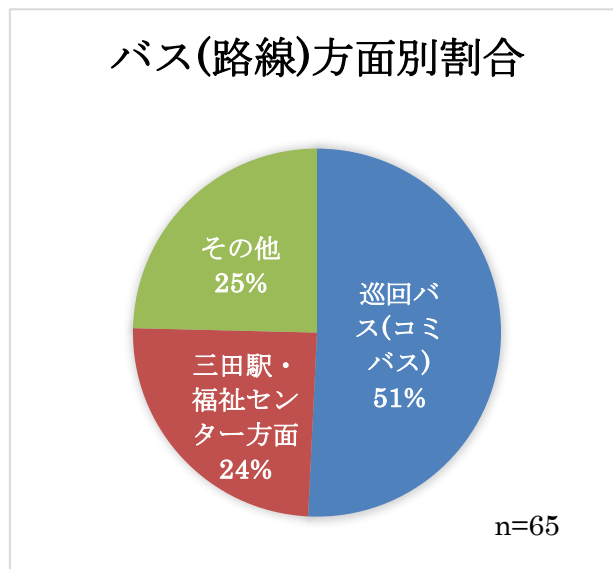
#### ① 全般的事項

・259件の自由意見があった。最も多かったのは、「路線バス」に関する事項である。その詳細は②に示す。次いで「他の手段」でカーシェアー、予約型タクシー、小型バス（荷物だけでも）、乗合サービス、自動運転タクシー等の導入提案、そしてその次に「道路状況」で歩道の凸凹、路上駐車、街灯等に関する提案であった。



#### ② 「路線バス」に関する事項

・最も多かったのは、路線に関する意見で、ウッディタウン内又は三田駅とウッディタウン間の「巡回(循環)」、次いで「三田駅・福祉センター方面」、その他、「市立図書館、フラワータウン、三宮行、麒麟ビール工場方面の路線など」の路線導入提案であった。



## 7. まとめ

地域内交通を考えていく上で必要な多くの貴重な知見が得られた。以下に要約する。

### (1) 良く行かれるところ

外出目的で最も多かったのは、買い物、次いで通院、そしてゆしみ他であった。行き先方面については、買い物の場合、近場の「南ウッディタウン方面」が最も多く、次いで「ウッディタウン中央方面」が多かった。通院は、三田市民病院他地区医療センターがウッディタウン内に散在することもあり「ウッディ・カルチャータウン内（南ウッディタウン、ウッディタウン中央除く）」が最も多かった。次いで「南ウッディタウン方面」、そして「三田市街地方面」であった。

なお、ゆしみ先は、「神戸北方面」や「ウッディタウン地域外」にまで広範囲に行かれる傾向が見られた。

## (2) 良く利用される移動手段

全体で見ると、移動手段で最も多かったのは自家用車であった。次いで、徒歩、自転車、公共交通、送迎の順であった。自転車の利用が思いのほか少なかった。

高齢化すると、体力の低下や車免許返納などにより自家用車の利用が減少する。今回のアンケートでは、75歳代層から減少傾向が顕著となり、成人(25~64歳)85%に対して50%程まで減少する結果が得られた。85歳代以上層では更に少なく20%弱になり運転されているのは5人の内1人以下であった。そして、自転車を利用する方も減少することが分かった。一方、公共交通や送迎を利用される方がかなり増える。公共交通の利用は、成人(同上)10%に対して75歳代層では40%になり、85歳代以上層では更に約50%にも達する。

## (3) 日常の外出頻度

週3~4日以上外出の方が80%程度あり、全般に良く外出されている。但し、高齢になるほど外出頻度が少なくなる傾向にあった。

## (4) 日常の交通移動の満足度

「満足状態」(満足+やや満足の総称、以下同じ)が85%程、一方、「不満足状態」(不満足+やや不満足の総称、以下同じ)が10%程あるとの回答を得た。日常の交通行動の満足度は、全体として高い水準にあること、その一方で一定数の方が低い水準にあると感じられていることが分かった。

この結果を踏まえて、どのような方がどのように不満足なのかについて、年齢、居住地、行き先、移動手段の各面から分析を行ったところ、「不満足状態」にある方は、75歳以上の高齢者に多いこと、並びに、公共交通や送迎を使っておられる方に多いことが明らかになった。「不満足状態」と答えた方は成人(25~64歳)4~6%に対して75歳代層で16%、85歳以上層で29%であった。又、公共交通の「不満足状態」は、移動手段全体9~12%に対して22%~27%であった。居住地及び行き先において、「不満足状態」の多いところは特に認められなかった。

## (5) 日常の交通移動のお困りごと

表-1の通りであった。

表-1 日常の交通行動のお困りごと

分類	A (外出多い) の方からの指摘	B (65歳以上) の方からの指摘
自家用車	①燃料費等維持費高い ②駐車場に困る ③運転ミスなどの不安ある	①燃料費等維持費高い ②運転ミスなどの不安ある ③駐車場に困る
自転車	①悪天時は移動しにくい ②大きな荷物運びにくい ③坂が多い ④通路に段差ある	・左記項目は同じ。多さは③→①→②→④の順。但、85歳以上では「 <u>体力面に不安ある</u> 」が2番目に多い。
徒歩	①大きな荷物運びにくい ②悪天時は移動しにくい ③坂が多い	・左記項目は同じ。多さは②→①→③の順。 ③追加： <u>体力面に不安ある</u>
公共交通	①便数が少ない ①運賃高い(鉄道・路線バス) ③目的地まで行く路線ない (図-9参照)	①便数が少ない ②運賃高い(鉄道・路線バス) ③目的地まで行く路線ない 追加④： <u>運賃が高い(タクシー)</u>
送迎	①行きたい時に行けない ②気をつかう	・左記項目は同じ。多さは、②→①の順。

(注)番号は、多い順。アンダーラインは、高齢になる程多くなる高齢者特有の困りごとを示す。

#### (6) 将来、自家用車がない時にお困りになること

今後高齢化が進み、免許返納などにより自家用車を使用できない方の増えることが予測されている。このような時代にあって、将来、自動車がない時にお困りになることを尋ねた。その結果は、「買い物」が最もお困りになるとの回答を得た。次いで「重い又は大きい荷物の運搬」、そして「通院」であった。

地域別に見ると、お困りになっている中でも「買い物」において、さくら坂と2丁目のお困り具合が高く、次いで高いのが1丁目と3丁目であった。又、「重い大きい物運搬」と「通院」については、1丁目が高かった。

#### (7) 将来、自家用車に代えて利用したい移動手段

将来に備えて、自家用車に代えて利用したい移動手段について尋ねた。その結果は、「公共交通利便性向上（運賃）」が最も多く、次いで「公共交通利便性向上（運賃以外）並びに「電動自転車」であった。予約型タクシーを希望する方も一定数あった。

地域別に見ると、希望の多かった中で「公共交通利便性向上（運賃）」と「同左（運賃以外）」は、1丁目、さくら坂、2丁目において、運賃以外が運賃を幾らか上回る傾向にあった。又、「電動自転車」は、さくら坂の希望が他地域よりも少なかった。その一方で、「予約型タクシー」の希望がある程度あった。

#### (8) 公共交通に関する情報提供

公共交通の利用拡大のための情報発信については、将来の地域内交通の利便性向上のキーになることから、今回の交通行動調査の一環として希望される情報発信手段について尋ねた。その結果は、「広報誌（三田市、まち協等）」が最も多く、次いで、「インターネット（三田市HP、企業HP）」が多かった。「ダイレクトメール（電子メール、広告郵便物）」も一定数あった。

地域別の状況について見てみたが、大きな差異は認められなかった。

#### (9) その他

自由意見で最も多かったのは、「路線バス」に関する事項である。その中でも路線に関する意見が多く出された。ウッディタウン内又は三田駅とウッディタウン間の「巡回（循環）」、次いで「三田駅・福祉センター方面」、その他、「市立図書館、フラワータウン、三宮行、麒麟ビール工場方面の路線など」の路線導入提案など。

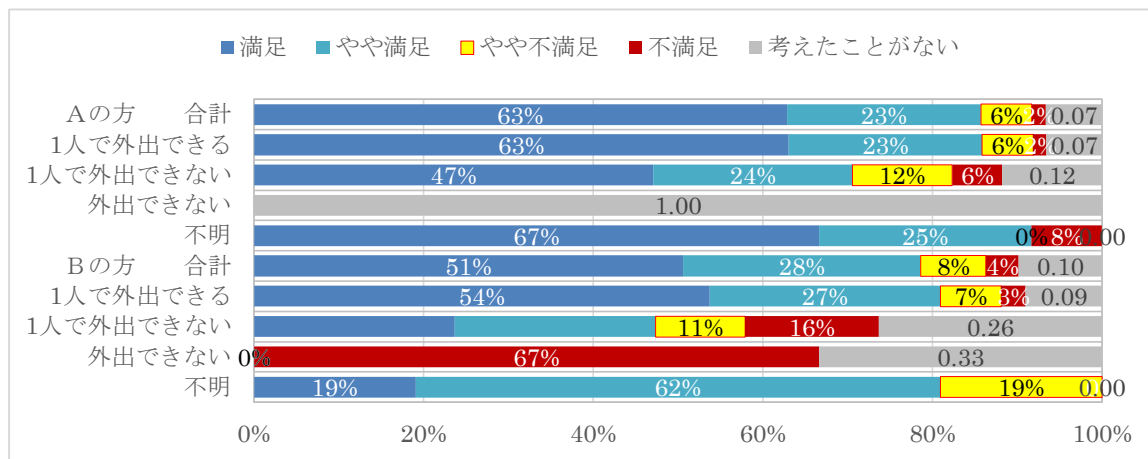
### 8. おわりに

現状における日常の交通行動の満足度については、高い水準にあることが分かった。しかし、①全住民の方々にあっては、満足感あるもまだまだ困りごとがあること、②75歳代以上の一定数の高齢者にあっては、自家用車の代わりに公共交通や送迎を使われる場合などにおいて満足に感じておられないこと、そして、③将来、自家用車に頼れなくなった時の備えをする必要のあることなどが浮かび上がってきた。今後は、アンケートにより明らかになった課題の解決に向けて推進体制を再構築して取り組んでいくこととする。

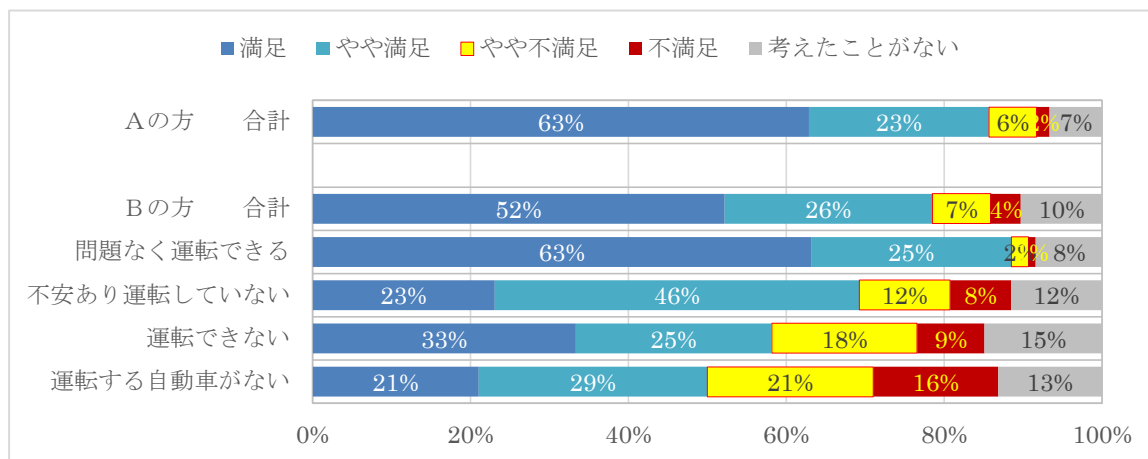
最後に、ご協力頂いたあかしあ台小学校区住民の皆様、三田市交通まちづくり課の方々並びに貴重なアドバイスを頂いた(社)グローバル交流推進機構の田中様に深く感謝いたします。

7. 参考：自力による移動能力と満足度との関係

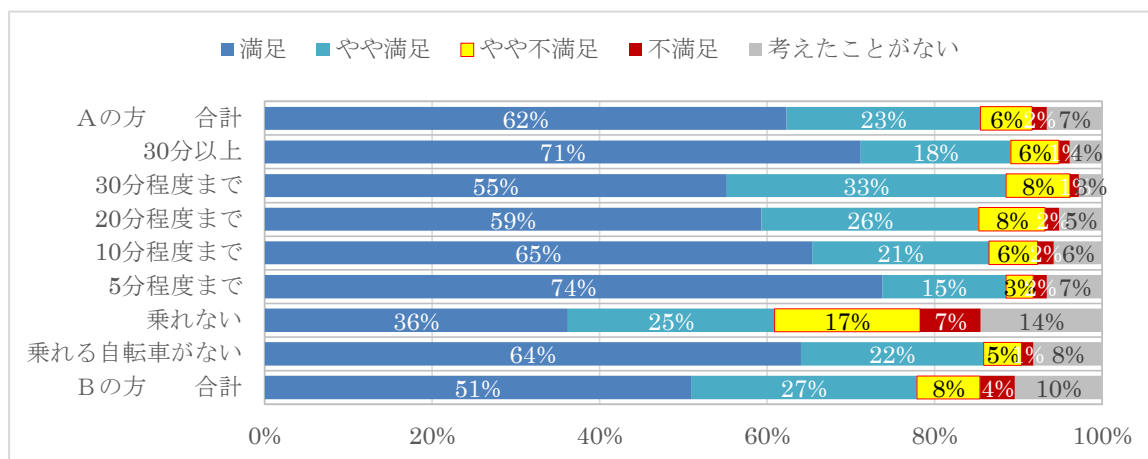
① 外出



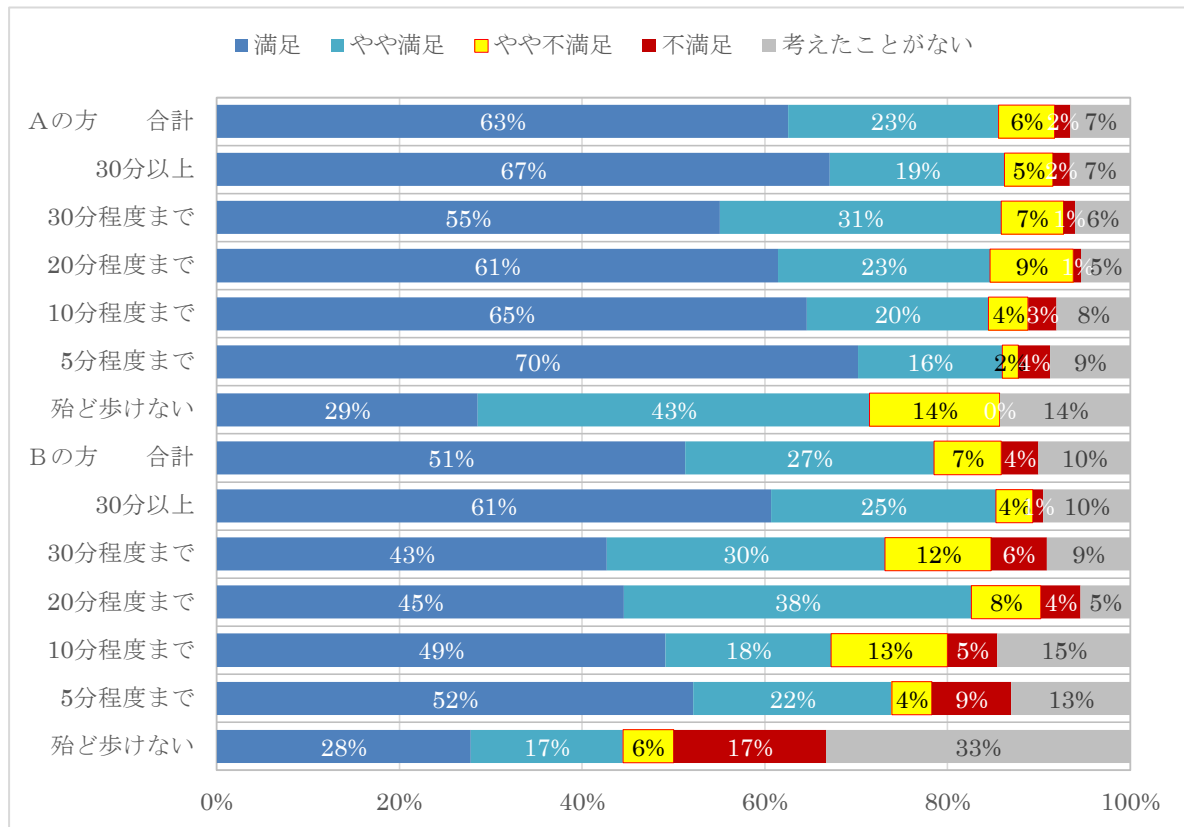
② 自動車による移動



③ 自転車による移動



#### ④ 徒歩による移動



# 日常生活圏内の交通行動調査

◎別紙の「日常生活圏内の交通行動調査のご協力をお願い」をお読みいただいた上でお答えください。

**問1 あなたの世帯(※)のことについてお尋ねします。次の(1)～(6)の設問にお答えください。**

～設問ごとに選択肢の中から当てはまる番号を選び回答欄にご記入ください。～

(※)世帯とは…一般に住居及び生計を共にする者の集まりをいいます。今回の調査では、住居を共にする集まり(同居)として回答してください。

設問		選 択 肢	回 答
(1)	住 所	1. あかしあ台1丁目 2. あかしあ台2丁目 3. あかしあ台3丁目 4. あかしあ台4丁目 5. あかしあ台5丁目 6. さくら坂	<input type="text"/>
(2)	世帯人数 (同居)	1. 一人 2. 二人 3. 三人 4. 四人 5. 五人 6. 六人以上	<input type="text"/>
(3)	世帯構成員 (該当する全て)	1. 世帯主 2. 配偶者 3. 子とその家族 4. 父母 5. 祖父母 6. その他	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
(4)	世帯内に ある車	1. なし 2. 一台 3. 二台 4. 三台 5. 四台以上	<input type="text"/>
(5)	最寄りの バス停ま での距離	1. 徒歩3分以内 2. 徒歩3～5分程度 3. 徒歩5～10分程度 4. 徒歩10～15分程度 5. 徒歩15～20分程度	<input type="text"/>
(6)	最寄りの 鉄道駅ま での距離	6. 徒歩20～30分程度 7. 徒歩30分以上 (備考)歩く速度は、ゆっくり歩いて分速50m(時速3km)程度です。	<input type="text"/>



代表的なセンター地区

C:ウッディタウン中央センター地区

M:南ウッディタウンセンター地区

S:すずかけ台センター地区

A:あかしあ台センター地区

K:けやき台センター地区

Y:ゆりのき台センター地区



あかしあ台  
リング道路並木

**問2** ご家族の内、日常の暮らしの中で必要となる買い物や通院などのためにウツディタウン内の移動（通学や大都市圏への通勤を除く。）が最も多い方《A》と、高齢（65歳以上）の方《B》のお二人をご回答頂く対象の方としてお選びください。

～選択肢の中から当てはまる番号を選び該当する回答欄にご記入ください。Bの方について該当なし又はAと同一人の場合は記入不要です。～

設問		選 択 肢			Aの方	Bの方
(1)	ご回答頂く方の選定	1. 世帯主 4. 父母	2. 配偶者 5. 祖父母	3. 子とその家族 6. その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**問3** 問2で選ばれた方のごことについてお尋ねします。次の（1）～（9）の設問にお答えください。～設問ごとに選択肢の中から当てはまる番号を選び該当する回答欄にご記入ください。Bの方を選ばなかった場合、当該欄の記入は不要です。回答欄に〔 〕があるものは、そこに直接ご記入ください。

設問		選 択 肢			Aの方	Bの方
(1)	性 別	1. 男性 2. 女性			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2)	年 齢	1. 18～24歳 2. 25～34歳 3. 35～44歳 4. 45～54歳 5. 55～64歳 6. 65～74歳 7. 75～84歳 8. 85歳以上			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3)	職 業	1. 常勤 2. 非常勤 3. 自営業 4. 働いていない			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4)	外 出	1. 一人で外出できる 2. 一人で外出できない 3. 外出できない			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(5)	自家用車による移動	1. 問題なく運転できる 2. 運転できるが不安があるので運転していない 3. 運転できない(運転免許の有無は不問) 4. 運転する自家用車がない			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(6)	運転免許の返納	1. 返納は考えていない 2. 当面、返納は考えていないが将来考えたい 3. 1～2年以内に返納しようと考えている 4. 運転免許を持っていない 5. 既に返納した			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(7)	自転車による移動 (日常の平均的な移動)	1. 30分以上 2. 30分程度まで 3. 20分程度まで 4. 10分程度まで 5. 5分程度まで 6. 乗れない 7. 乗れる自転車がない (目安)ゆっくり走行して10分で約1.5kmです。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(8)	徒歩による移動 (日常の平均的な移動)	1. 30分以上 2. 30分程度まで 3. 20分程度まで 4. 10分程度まで 5. 5分程度まで 6. 殆ど歩けない (目安)ゆっくり歩いて10分で約500mです。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(9)	その他の手段による1人での移動 (一人乗り電動カートなど)	1. 移動手段の種類			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2. 移動距離			<input type="checkbox"/> m程度まで	<input type="checkbox"/> m程度まで

**問4 日常の暮らしの中で必要となるウツェタウン内の移動（買い物や通院など）について、次の（1）～（5）の設問にお答えください。**

～設問ごとに選択肢の中から当てはまる番号を選び該当する回答欄にご記入ください。Bの方を選ばなかった場合、当該欄の記入は不要です。回答欄に〔 〕があるものは、そこに直接ご記入ください。～

設問		選択肢	Aの方	Bの方
(1)	よく行く場所 や施設名 【その他は、役所・銀行・郵便局・学校など。〔 〕内にはイオン三田ウツェタウン店などと記載】 (回答は選択肢別に2つまで)	1. 買物先	〔 〕	〔 〕
		2. 通院先	〔 〕	〔 〕
		3. 楽しみ先	〔 〕	〔 〕
		4. その他	〔 〕	〔 〕

設問		選択肢	Aの方	Bの方	
(2)	そこまでの 主な移動手段 (回答は4つまで)	1. 自家用車(自分で運転) 2. 自転車 3. 徒歩 4. 公共交通(鉄道、路線バス、一般タクシー) 5. 送迎(家族・知人の運転) 6. その他	〔 〕	〔 〕	
(3)	外出の日数 (全て合せた日数)	1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3日 5. 月1日以下	〔 〕	〔 〕	
(4)	現在の移動 手段の満足度	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満足 4. 不満足 5. 考えたことがない	〔 〕	〔 〕	
(5)	現在の移動手段でお困りのことがあれば「指摘ください。不足していることや改善すればもっと快適になることなど。」(移動手段ごと)の3つまで	自家用車	1. 道路渋滞に困る 2. 運転ミスなどの不安がある 3. 駐車場に困る 4. 燃料費など維持費が高い 5. その他	〔 〕	〔 〕
		自転車	1. 大きな荷物が運びにくい 2. 歩道が狭い 3. 悪天時は移動しにくい 4. 坂が多い 5. 通路に段差がある(歩道の凸凹含む)	〔 〕	〔 〕
		徒歩	6. 体力面に不安がある 7. その他	〔 〕	〔 〕
		公共交通	1. 自宅からバス停までが遠い 2. 乗継が不便 3. 目的地まで行く路線がない 4. 便数が少ない 5. 路線や運賃が分かりにくい 6. 時間通りに運行しない 7. 利用したい時間に運行していない 8. 運賃が高い(鉄道・路線バス) 9. 運賃が高い(一般タクシー) 10. その他	〔 〕	〔 〕
		送迎 (家族・知人の運転)	1. 行きたいときに行けない 2. 送迎者に気を遣う 3. その他	〔 〕	〔 〕
		その他	〔 その他記載欄 〕	〔 その他記載欄 〕	



**問5 今後、高齢化に伴う運転免許返納や生活様式が多様化などにより自家用車に頼らずとも移動できる交通環境へのニーズが高まることが予想されます。ウツェタウン内の移動手段について、将来を見据えてどのようにしていけば良いと思われますか。次の(1)～(2)の設問にAの方とBの方とご相談のうえお答えください。**

～設問ごとに選択肢の中から当てはまる番号を選び該当する回答欄にご記入ください。回答欄に〔 〕があるものは、そこに直接ご記入ください。～

設問		選 択 肢	回 答
(1)	自家用車がない時、お困りになること(1番とその次の2つまで)	1. 買い物 2. 通院 3. 愉しみのための外出 4. 役所・銀行・郵便局・学校などへの外出 5. 雨の日の外出 6. 重い又は大きい物の運搬 7. 徒歩や自転車では辛い公共交通利用の必要な外出 8. 特に困ることはない 9. その他	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> [ その他記載欄 ]
(2)	自家用車に代えて利用したい移動手段 (回答は3つまで)  *「乗合」とは、同じ車両に複数の人が同乗して移動する形態	1. 電動自転車(1人乗り、2又は3輪、購入またはレンタルであなた自身が運転) 2. 1人乗り電動カート(低速4輪、購入もしくはレンタカーであなた自身が運転) 3. 3～4人乗り電動カート(低速4輪、ゴルフカートなど、乗合*、あなた以外の運転手が運転) 4. 予約型タクシー(乗合*、あなた以外の運転手が運転、 <u>既存バス路線がないところ</u> に限られる) 5. 公共交通の利便性向上①(運賃を安くする、運賃を定額にする) 6. 公共交通の利便性向上②(上記5. 以外で、自家用車がなくても困らないように目的地までのルートや乗り継ぎの案内サービスを向上する、必要により路線や運行時刻を見直す、など) 7. 特になし 8. その他	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> [ その他記載欄 ]

**問6 公共交通に関する情報(バスのお得な乗車券など)を知るための手段として希望するものを選択肢から選んでください。Aの方、Bの方ご相談のうえ選択肢から選んでお答えください。**

～ 回答欄に〔 〕があるものは、そこに直接ご記入ください。～

設問		選 択 肢	回 答
(1)	公共交通に関する新たな情報を得るために希望する手段 (回答は3つまで)	1. テレビ 2. ラジオ 3. インターネット(三田市ホームページ、企業ホームページ) 4. 無料動画サイト(YouTube等) 5. ダイレクトメール(電子メール、広告郵便物) 6. 広報誌(三田市、まち協等) 7. 街頭広告物(ポスター、チラシ) 8. 口コミ(友人、知人) 9. その他	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> [ その他記載欄 ]

**問7 その他ご意見などございましたらご記入ください。**

～問1～6以外で、日常生活での移動に関してご意見がある場合は、ご記入ください。～

(自由ご意見欄)

調査へのご協力ありがとうございました。  
同封の封筒に入れて、指定個所へお持ちください。